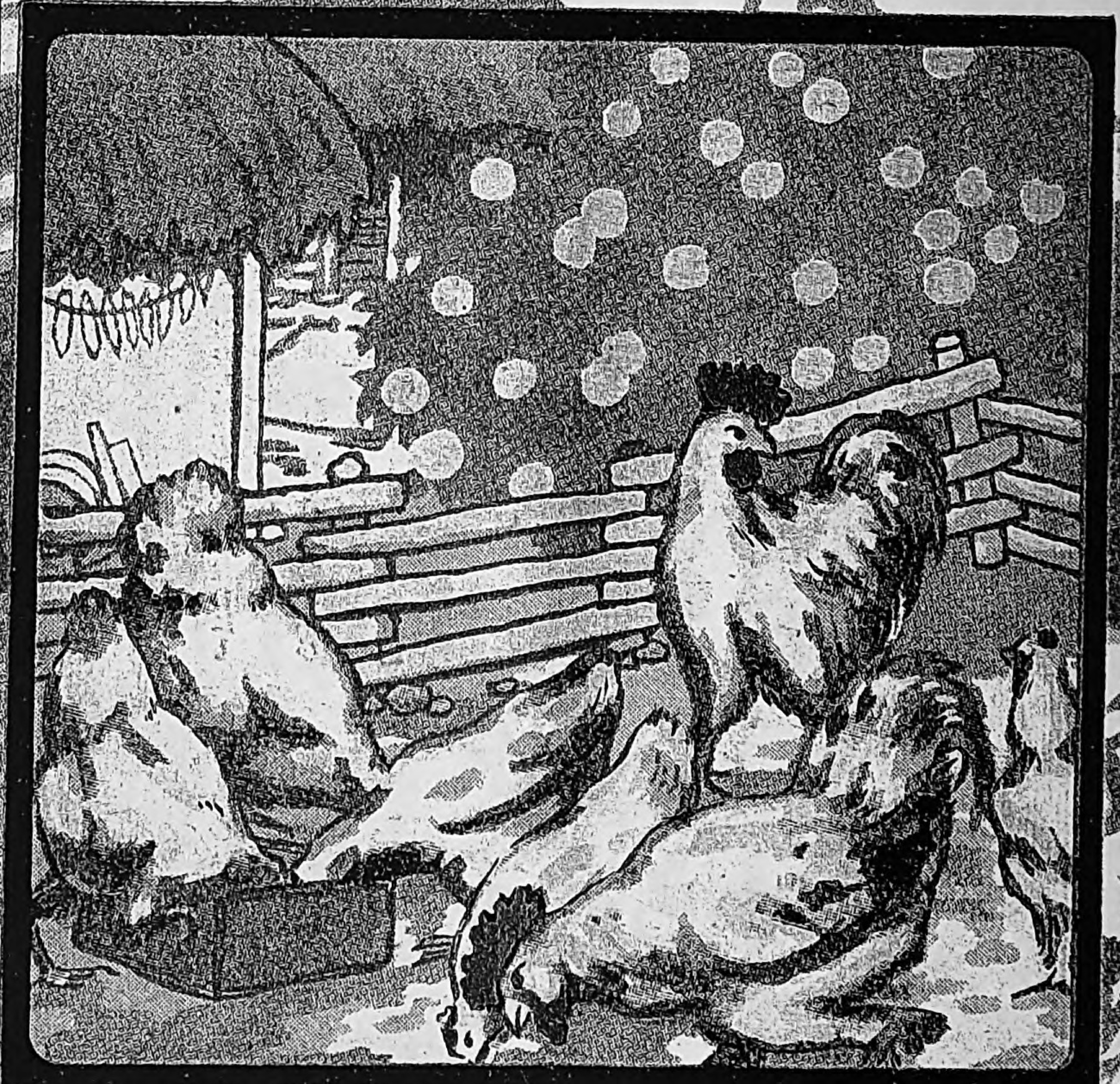
大正十年三月廿七日印刷納本 大正七年十二月二十五日第三種郵便物認可
大正十年四月一日發行（毎月一回一日發行）

處女の友

4巻4号

第四巻 四月 第四號



處女會中央部發行

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

經濟的家庭染料の大王

燈臺印 絞り染下繪用 青花（あをばな）
定價壹袋十錢
送料二錢
絞り染の下繪をお書きになるには本品を御使用下さい使用法簡單にて具合よろし

燈臺印

家庭用改良染粉

みやこ染

●みやこ染は　御婦人御子供樣方どなたにも極く手輕に美しく染る輕便な染粉です
●みやこ染は　他の染粉の如く色留粉を用ひずして充分堅牢です
●みやこ染は　色の配合自由自在御望みの色が思ふ儘に出來ます

色合（紺、黒、赤、淺黄、茶、黄、海老茶、紫、オリーブ、桃色、牡丹、鶸黄、納戸、焦茶、樺色、鐵色、鼠、藍鼠等、

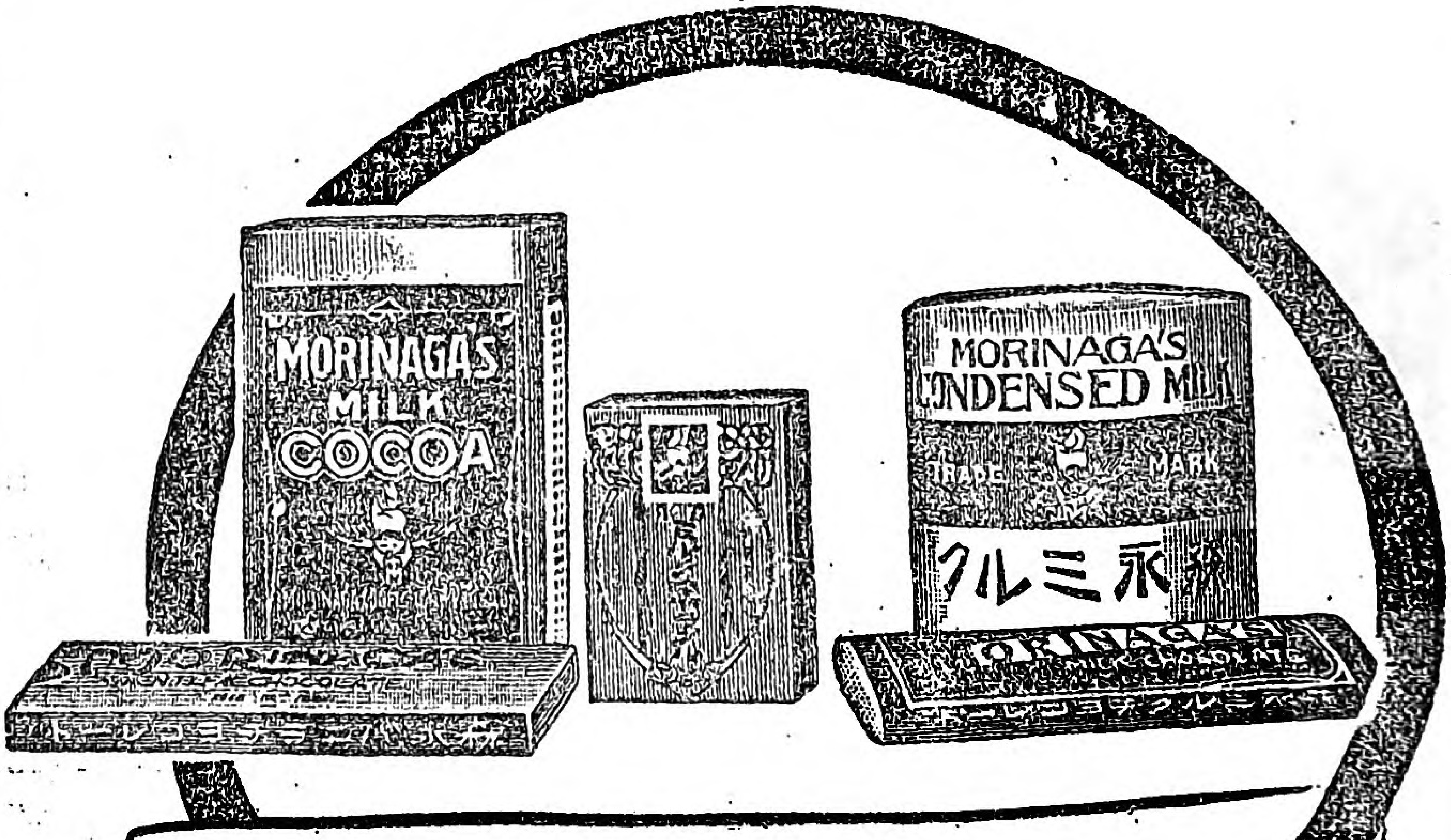
定價（小瓶（半反染）金二十五錢
　　（大瓶（一反染）金四十五錢
（染法は現品に詳しく書いてあります）

◎賣捌は全國の小間物店荒物店藥店にあり
◎御買求めの節は燈臺印みやこ染に御注意

御申越次第染色標本 説明書進呈此の廣告を見し旨御書添を乞ふ）

東京小舟町
かつらや
電話浪花長一九五八番 二九五八番
振替東京三九五番

絞り染用染料として大好評



現代の
御家庭には
最も保健衛生に適した滋養菓子をお選みになりますでしょう。
そしてそれは總て
森永の
製品に限られて居ると仰被つて下さいますでしょう。

森永製菓株式會社

處女の友

四月號

大正十年四月一日發行

○表紙 農家の春……田代紫光筆

○口繪 ━━ 昭憲皇太后御尊影 山梨縣南巨摩郡大鹽村處女會

◉記　事◉

▽卷頭（春景色）……一

▽昭憲皇太后の御聖德……二

▽（社説）話の題目を高く清く……三

▽七福神に就いて……山脇高等女學校長 本會理事 山脇房子……六

▽處女の心得……女子醫學專門學校長 本會理事 吉岡彌生……九

▽日本婦人と養鷄……陸軍中將 本會評議員 堀内文次郎……一一

▽心の平和……富士瓦斯紡績會社 本會評議員 辛島寛太……一三

▽ある處女との問答……内務省囑託 本會理事 天野藤男……一六

▽五圓金貨を拾つた少年の話……二〇

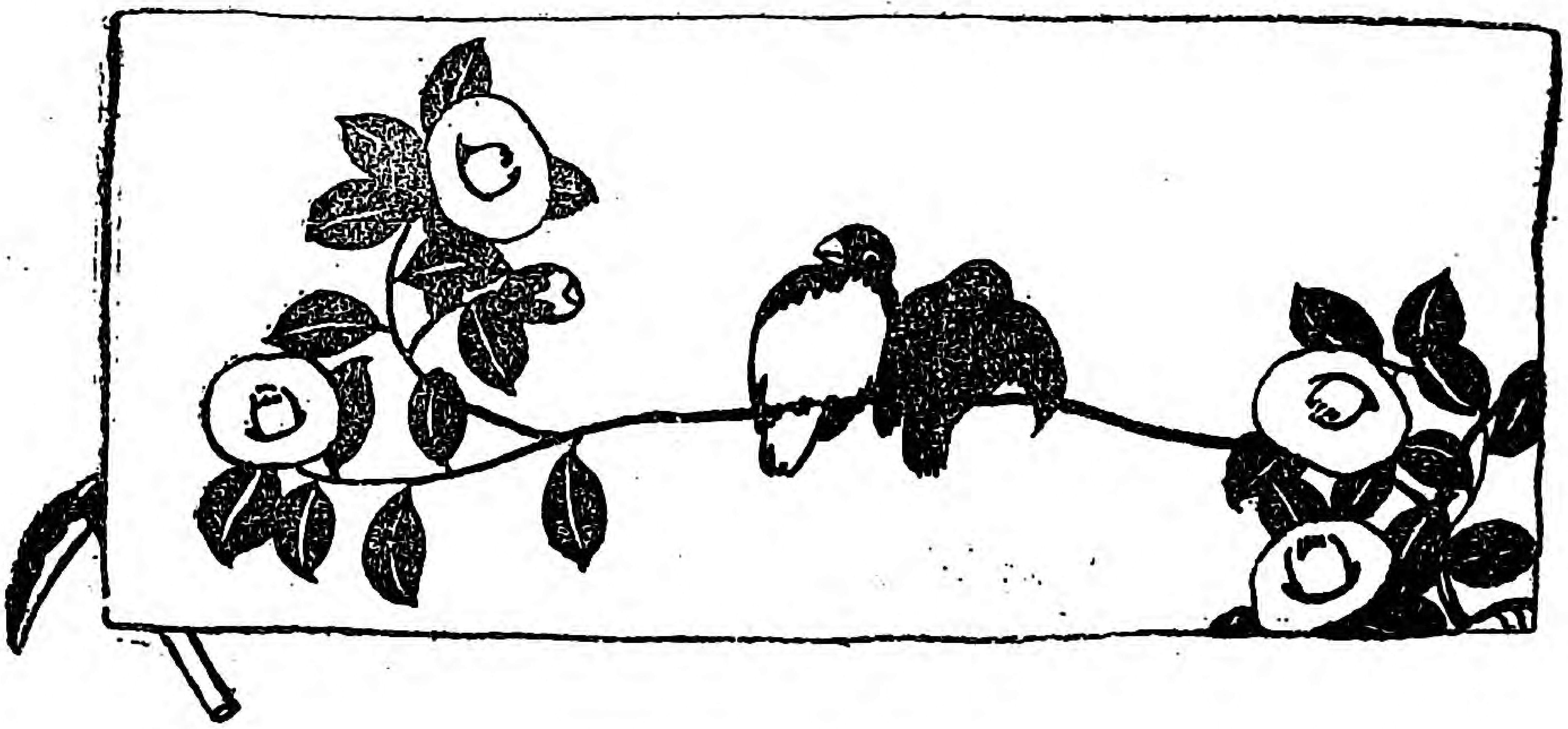
▽（懸賞發表）私の崇敬する婦人……二二

▽日本の名婦と花……二三

（稲媛○衣通姫○和氣廣虫○中將姫○小野小町○紫式部○小式部内侍○淸少納言○）

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN



▽氣轉數個條……二六
常盤御前○板額○巴御前○靜御前○尼將軍政子○楠正成の妻○北政所○細川忠興夫人○木村重成の妻○淀君○春日局○乳人淺岡○税所敦子
▽春雨……白雲……二七
▽新子守唄……二八
▽郵便函の歌……二八
▽上京して苦學したい
―光子さんから（其の返事）―……二九
▽めりんすの一生……松崎ひろの……三三
▽小說 友情（完）……深綠……三四
▽台所から……三四
▽地方處女會通信……三九
▽皆さんからのお便り……四三
▽六つの處女會へ……天野生……四六
▽處女文壇……四八
▽處女歌壇……四九
▽處女俳壇……五一
▽表紙に對する私の感想……五一
▽誌友くらぶ……五二
▽編輯だより……五六
▽考へ物……五六

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

電燈の進歩に伴はざる笠の惱み！

電燈創始時代の單純偏平な笠は
時代後れを示します
形と色とは審美的に
配光は學理的に作り上げられたる

乳色硝子製

ベルリア反射笠！

之は夜間家庭平和の象徴です

三尾

神奈川縣川崎町
JEC 東京電氣株式會社

出張販賣所
東京市京橋區銀座尾張町一ノ一 電話銀座 長一二三七一・一三七〇 一二三七二
大阪市西區阿波座通一ノ五 電話新町 長六三〇・八九八 長八九九
門司市西本町三ノ二九 電話 長 四六・六八二

此雜誌名及び商品名御報の方へは說明書謹呈

U-21

昭憲皇太后御尊影

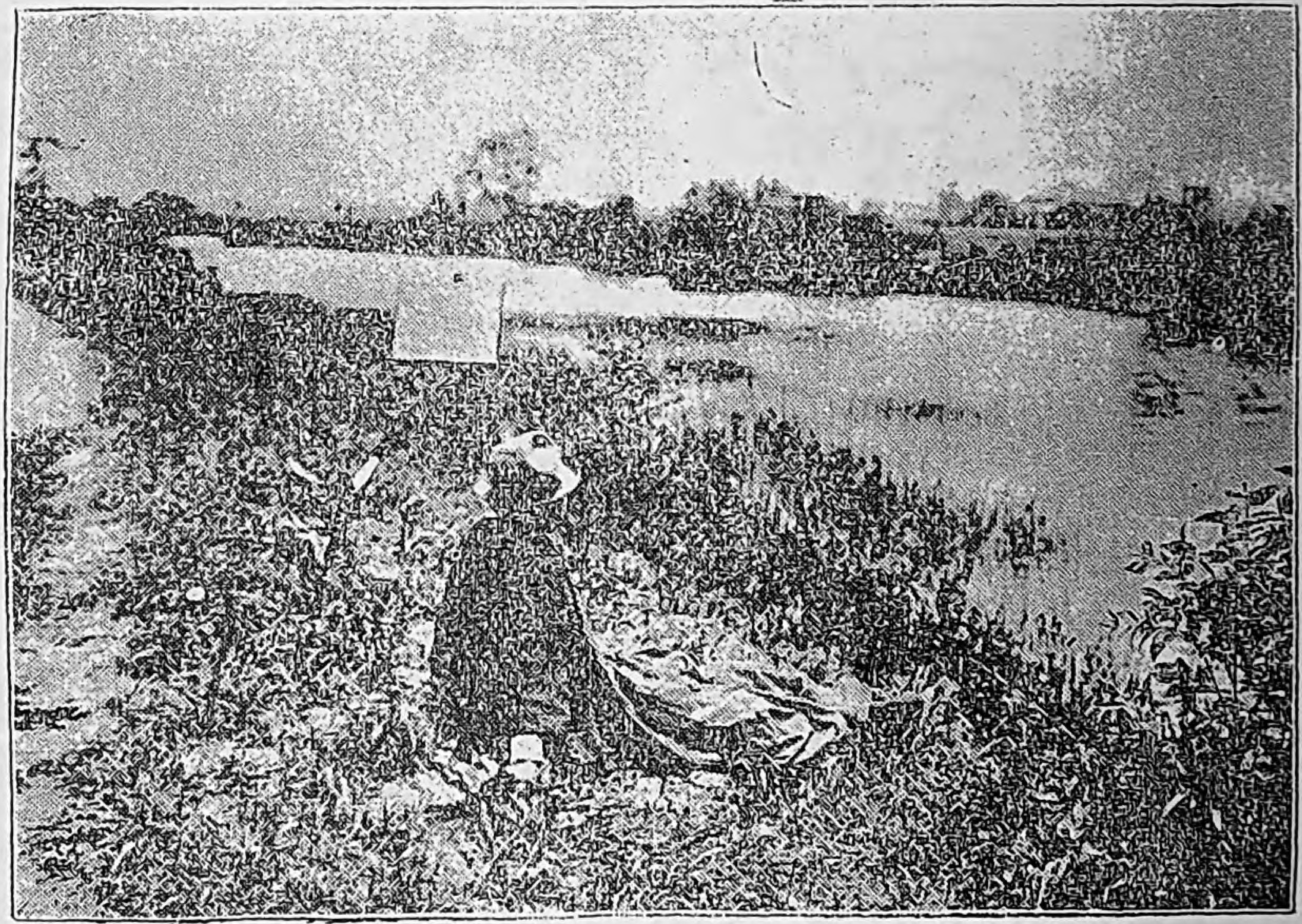
Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

山梨縣南巨摩郡大鹽村處女會の裁縫講習紀念

（前列中央が會長望月昌六氏）

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN



春の田舎

處女の友　四月號

自然と大學校

いゝ景色だ、此處らから向ふを見渡した所がよい、と畫家は畫架を青い堤の上に据ゑ、さて筆を取つてみたが何んと思つたか、筆をなげすて、どつかと堤の上に足を投げ出しました。

『あゝとても駄目だ、この美い自然がどうして寫せるものか、どんなにすぐれた畫家でもこの自然をそのまゝに寫すことは出來ない、あれ〳〵雲雀も鳴いてゐる小川には鯉も躍つてゐるだらう、あゝこの自然の心持がどうして寫せるものか、自然は大學校だ、こうして靜かに眺めてゐると、いろ〳〵のことを敎へられる、野の乙女はこうした學校に通つて居つて、しかも野の幸が悟れぬのだ、あゝ自然はいゝ、こうしてゐると、浮世の慾も、妬みも、みんな忘れる、自然が一番正直だ』

こう深い溜息つきながらひとりごといひました。堤の向ふから乙女が三人畑仕事らしいなりをしながらいゝ聲で唄つてゐます、フトその唄をきゝますと、

『霞にほゝゑむ岡邊のさくら、陽炎もえ立つ廣野の菫うぐひすひばりのたのしき歌も……』

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

昭憲皇太后の御聖德

昭憲皇太后、神さりましてより、ことしは早くも七年、この四月十日こそ御崩御の悲しい思い出の日でございます。陛下には、風溫く水清き沼津在なる御用邸にて御病にかゝらせられ、御還啓后程もなく御崩御遊ばされましたこと、同胞の記憶尚新たなることでございます。陛下は日月の如き御聖德をもつて先帝陛下に奉仕せられ、七千萬同胞をば赤子の如くお愛して下さいました。嘗て

綾錦とりかさねてもおもふかな
寒さおほはん衣なき身を

と御詠み遊ばされました。又

坂道を人にひかせて心なく
車の上にねむりけるかな

何といふ勿體ない御思召でございませう。又嘗て人の人たる十二德を明かにせられこれを御歌に遊ばされました。これは十二德の御歌と申しまして各學校わけても女學校などでは、たふとい德育の鑑と仰いて居ります。その中に「誠實」と申す御題にて

とり〴〵につくるかざしの花はあれど
匂ふ心のうるはしきかな

と申す御聖歌がございます。この歌の御心は髪かたちをかざるいろ〳〵のかざし(簪)の花はあるが、其よりも心の奥深く匂ふ心の花の方がうつくしいものである、女子はみめかたちより心の德がのぞましいとの御意をお現はしになられたことゝ存じます、全國處女會は、この御歌のお心を朝な夕なに心に味ふて心の花の咲き匂ふ、立派な娘となり妻とならねばなりません。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

社説

話の題目を高く清く

(一)尾に鰭がついて

『圓い卵子も切り樣で四角、ものも言ひ樣で角が立つ』といふ諺がございますが、實際のことでございます。『あの方は派手な着物を着てゐた』と言へばそれほどでもないが、『あの方は派手好きだ』と言ひますと、もう角が立ちます。かういふ風にして、何氣なくいつた人の噂が順に擴がる中に尾鰭がついて、噂がわる口となり、しまひには、仲たがひの基ともなります。

私たちは、とかく人のいゝ噂にはあまり興味をもたないといふさもしい缺點をもつてゐますが、人の内所ごとや、かげ事をば、根掘り葉掘り聞きたゞしてみたがるものです。婦人にはかういふ缺點があると言はれてゐますから、身を省みて直さねばいけません。

(二)かげ口のひろがり表

私たちは、人のすることを、なるべく善意に解釋したいと思ひます。若し人が友達のことをわるくいつたら『そんなことはございますまい』と其を打消したいと思ひます。若し又事實であつたならば、ほんとうの誠心から其の人に對して忠告をせねばなりません。大抵の人は、其處まで深切をつくさずに、人の惡口を受賣して順々に大きく尾鰭をつけて傳へます。どんな風にかげ口がひろがるかと言ひますと

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

ザツトこんなものです。
今みね子さんが君子さんに、『雪子さんはいゝきりようですが、鼻が高いともつといゝですがね』と何氣なく雪子さんの噂をしたとしますと。
君子『隨分ぢやありませんか、みね子さんは雪子さんのことをね、きりようはいゝが鼻が低いから駄目だつて、』
花子『まあお聞きなさい、みね子さんがね、雪子さんのことをね、どんなにお化粧しても鼻が低いから駄目だつて、ね、隨分ぢやありませんか、自分のきりようは棚に上げて』
とき子『ほんとうにみね子さんはひどいのよ、雪子さんのことをお多福ですつて、ね、雪子さんにいひつけてあげませう』
まあこんな風に、かげ口は擴大してゆきます、其がいつしか本尊の雪子さんの耳に入りますと、雪子さんが心の廣い、人を善意に解釋する人ですといゝが、さもないと、目をつり上げて怒り、みね子さんを怨みます。そして仲たがひ致します。

（三）お氣の毒から離緣

之が大人になりますと、一層口數が多くなり、おまけが重なります。
イ『あの新田のお咲さんもお姑さんがやかましいとかいふので大變でせうよ』
ロ『新田のお咲さんは、お氣の毒ですね、お姑さんが虐めるんですつて』
ハ『新田のお咲さん位氣の毒な人はありませんわ、箸の上げ下ろしに、お姑さんにイビられてゐるんださうです』
ニ『あなたお咲さんのことをきいて？、お姑さんにいぢめられて、朝から晩まで泣き通しですつて』
ホ『あなた新田のお咲さんの噂きいて？』「いんえ」「お姑さんにあまり虐められるので何でも離緣話が持

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

ち上つてゐるといふことよ』
段々話しに割増がついて、とう／＼離縁沙汰にまでしてしまひます。誠に恐ろしいほどです。

（四）話しの題目を高く

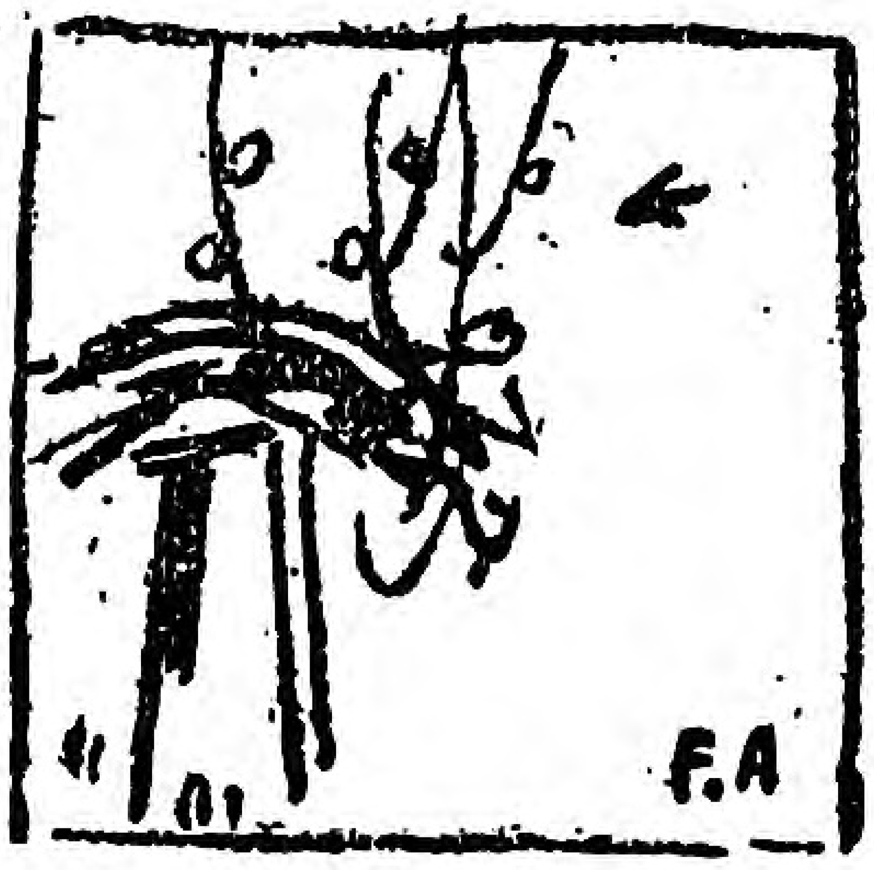
井戸端會議は、おかみさんたちが集つてわる口、かげ口を言ひ合ふ事のようになつてゐます。かみゆひどころ、錢湯など其の他大勢集る所へゆくと、得て人のかげ口や、つまらぬ噂話しに耽ります。然し少くとも是からの婦人、――殊に處女會婦人會員――は紊りに人のかげ口や、わる口を言つてはなりません。又聞いて其を受賣してもなりません。尙話しの題目を、高尙に上品にすることを忘れてなりません。昔の女は、頭が出來てゐませんから、寄るとさわると、姑の話、着物の話、下駄の話を始めとして人のわる口などばかり仕合つてゐました。皆さんは、こんなことを問題とせずに、或は處女會の事業や婦人問題や、子供の育て方や、家庭敎育の話や、さういふ方面について話し合ふようにせねばなりません。人のわる口はいけないが、人の主義主張の批評はいゝことです。『あの方は處女會と靑年團との連絡に、ついて反對されますが私はいゝと思ひます。何故ならば』といふ樣に議論するのは、立派なことです。主義の爭は進歩を促します。

どうか。皆樣は、人のわる口を言はぬことを誓つて下さい。又若し友だちにわるいことがあつたならば誠心をもつて諫めて正しい道に進むようにして下さい。

明治天皇のお歌に

過を諫めかはして親しむが
まことの友の心なるらむ

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN



七福神に就いて

山脇高等女學校長
本會理事　山脇房子

七福神は世の中を象つたもので、私共が朝に夕べに忘れてならぬ修身の教へも、世渡りの道も皆七福神によつて示されて居ると存じますので、七福神のお話をして、皆さんの日常の參考に供し度いと思ひます。

毘沙門天

武力の神として仰ぐべき毘沙門天は、如何にも嚴めしい顏をして、武装をして居らるゝ有樣は、常に外敵を防ぎ正義のためには、百萬の敵と雖も恐れぬといふ強さを示されて居ます。

惠比壽

帳簿を手にして、算盤をかゝへて居らるゝ惠比壽は商才の神、經濟思想の現れとして見るべきでありませう。恒産なければ恒心なしと申します如く、生活の不安は人の性行にまで影響を及ぼします。故に社會の壓迫に打ち勝ち、何か事をなさんとするには、どうしても經濟思想を疎かに思つてはなりません。

大黒天

米俵の上に乘つて鎚を持つて居らるゝ大黒天は、貯蓄の神として、質素儉約なれと我々を訓されて居るやうです。鎚を振りますと必要に應じて、何でも望みの品が得られる、米は我々の常食で、私共になくてならぬものです。この缺くべからざる二つの寶を貯へて、

豊かさうに平和な顔をして、常に勤倹貯蓄をして、不安のない生活をせよと我々に示されてゐます。

辨才天

七福神の中で唯一人の女神として私共の最も注意すべきは、辨才天であります。家族は勿論の事、廣く社交界の催しにしても、男子同志の荒ぶる心、粗暴な振舞を、柔和に愛嬌を以て圓滿にとりなしをするのが婦人の天性で、婦人は平和の女神として武骨に流れ易い男子間の亂れを靜めるために優美で上品であれと示さるゝ辨才天は社交の神としてお手本にしなければなりません。西洋では社交界に婦人が混じると、一座が嚴肅になり、上品になると申しますがまだ〳〵日本では婦人が混じると、反つて一座が亂れて來るといふ傾きがありまして、これは日本婦人が男子に尊敬さるゝだけの能力を發揮するやうに、婦人自ら心掛けねばなりません。一般の婦人が其天性といふものを自覺しないために、折角圓滿であつた男子間の交際も婦人が蔭口や、邪推をするために、親戚間のもつれ家内の不和、社交界の破綻等、大部分婦人が原因をなして居るといふ事は、我々婦人として誠に面目ない事ではありませんか。

「柔よく剛を制す」とは誠に婦人にとつて、此上もない金言でありまして、表面の優しさ、柔和な態度の中に、あらゆるものを壓へるだけの威力を持つて欲しいと思ひます。小さい事に例を引きますれば一寸弟たちが爭ふて手荒い事をする場合に、姉さ

金山名所世の中櫻　（佐古かすゑ寄）

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

んは先づ柔和な顏で穩やかに、說き訓して、圓滿に解決をするだけの腕がなければなりません。日本婦人はもつと〳〵社交の神、平和の神として、辨才天に學ばなければならぬと思ひます。

布袋

見るから丈夫さうに、お腹をふくらませて、毅然たる態度の中に、にこ〳〵と優しみのある布袋は、健康の神として、健康である事の如何に幸福であるかといふ事を示されて居ます。百萬の富、高位高官も其人の身體が弱くては、少しも活用する事が出來ません。「健全なる精神は健全なる身體に宿る」と申しまして健康體は其人にとつて何より大切な寶であります。

福祿壽

私共は仁德の神として、福祿壽の德を學び、德を以て人を靡け、仁慈の間に人が知らず〳〵慕ひ寄り心から服するやうにしなければなりません。暴威で屈服させるのでなく、德の中に人を化して大いに信用を得るやうにしなければなりません。

壽老人

老練の神として壽老人は、萬事を統べ括りをして、統一の腕を見せて居ます。何事によらず逸る人をなだめ、愚鈍の人を鞭撻して、すべて統一を缺いた場合にそれを締め括るだけの腕が必要でありますから、この老練な壽老人をお手本とするとよいと思ひます。

勸學

あだにすごすなけふの日を　けふは再びかへり來ず
むだに暮らすなこのとしを　今年はまためぐり來ず
たゞ時の間の日影だに　惜しみし人もあるものを
學びの庭につどふ子よ　撓まず摘めや敎へ草

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

處女の心得

女子醫學專門學校長
本會理事　吉岡彌生

□處女會の起り

時勢の進運に伴ひ、日本の將來の運命は、男子と同じく女子の上にも、重い責任があるといふ事をこれからの女子が自覺しなければならぬと、世間の人がだん／＼となへるやうになりました。處女會の起つた原因も實にこの女子の向上發展を促すためであります。

然しながら青年團の目ざましい進步に比べては、まだ／＼處女會は一向に振ひません。會數に於ても會員數に於ても、其の內容に於ても到底比べられぬ程劣つてゐます。處女會中央部としては今後もつと／＼地方との連絡をとり、地方婦人を理解して、地方婦人の幸福增進のために、力を盡さなければならぬと思ひます。

さて地方婦人は地方にをつて、都會に於る發達進步の實際を知らずして、その表面だけの想像によつて、とかく都に憧れたりするものであります。

さうして段々と地方の人が都會に集つて、都會が日に日に盛んになつて行くに反して地方は漸次に衰へて行く有樣であります。一村は國家の源で、國家は村の集りであるといふ事を考へて、一村の盛衰はやがて一國の盛衰に大いなる影響を及ぼすものであるといふ事に、地方の人が心づかないのは、誠に嘆かはしい事であります。

□一家和樂の根本

又新舊思想の衝突にしても、少しばかりの敎育をうけたり、會に出たりする人が、姑との間が面白く行かず、姑に嫌はれたりするのは、決して姑ばかりの罪で

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

なく、若い婦人としてもよほど考へなければならぬ事が多からうと思ひます。徹底した教育をうけ、眞に思想を健實ならしめて、古い教育をうけた人の古い思想にも、相當に經驗のあるといふ事を考へて、敬意をはらひ、新時代に應用出來る事は用ひ、道理に合はぬ事は、恁うして頂き度い、恁ういふ理由であるとか細かに說明をして、お互ひの調和を計るやうに、若い婦人の方から仕向けて行かねばなりません。一家和樂の根本は實に恁ういふ點にあります。然し若い婦人は自分の意志を充分に發表し得ないため、影で兎角不平をならし勝ちであるやうですから、生意氣にならぬ程度で自分の意志をどし／＼發表して、自分の主義主張を明らかにしなければなりません。

相當の忍耐と相當の知識をもつて事にあたり、立派な體格と立派な知德の所有者となつて、向上し進歩して行く青年の相談相手となり、夫にとつてよき妻となり、時勢に適合した婦人となるやう修養する事が必要であると思ひます。

□節操と體力の養成

世界中で日本が一番花柳病者が多いといふ事が統計によつて明らかであります事は、誠に遺憾に思ひますが、これは衞生思想の發達してゐない事と、男女間の道德思想が不健全である事が大きな原因であります。

青年は未來の父、處女は未來の母であります以上、共々に節操の純潔を守つてよい父よい母となる心掛が肝心でありますのに、男女間の道德思想が亂れては、その毒害は單に一代のみで止らず、二代三代と子々孫々に及ぼすものでありますから、節操と體力の養成には充分力を注がなければなりません。殊に工場に居らるゝ處女たちは、誘惑が多くよほど確乎した信念をもつて居ないと、危險ですから處女會でも特に工女に道德觀念を宣傳する必要があると思ひます。

終に何によらず婦人の會合には發會式の盛んな割合に二回三回と段々衰へて、終に有名無實となる傾きがあります。その多くが服裝に心を惱ます事が原因をなして居る事は實に殘念な事で、私は平常清潔でさへあれば古いものでもよろしい、決して服裝によつて其人の眞價を見ないといふ考で居ります。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

日本婦人と養鷄

陸軍中將
本會評議員　堀内文次郎

◎大和島根と鷄

動物の中で一番人間に親しみが深くて、暖い愛情を以て人間と結びつき、而も非常に優美で、その優美の中にきりつとした雄々しさを含んで居るものは鷄であります。鷄は只見ただけでも、人間に愉快を與へる姿や形を持つて居るばかりでなく、精神的にも大きな感應力をあたへるだけの性質を持つて居ます。

例へば鷄の鬨をつくる聲を聞けばどんな病人でも氣持がちやんとするやうな力を持つて居て、其形や精神が、人間に非常に親しく感ぜられ結びつけらるゝばかりでなく、人間のために多くのものを捧げ、人間に恩報じをしてゐます。彼の人間の養生の上になくてならぬ鷄卵はもとより滋養の多い鷄肉も人間にとつて大切なものであります。唯生きて居る間ばかりでなく、死んで後も人間の缺くべからざる要素となり尚羽は毛ぶとんにもなつて、暖かさを殘して行きます。

とりわけ日本國としては、國家の創立以來、其なり立ちからして、神祕な歴史をもつてゐて、これは歐米に例のない獨り大和島根の神國にのみ現れた事實であります。例へば天の岩戸に天照大神が姿をお隱しになつた時も、鷄の聲に天の岩戸を開かれました。さうして鷄と神とは離れられぬ神聖な關係が現はれてゐまして、八幡宮や其他の神にも鷄の放飼がしてあつて、伊勢大神宮でも御改造の時には鷄の繪がかきつけてあるさうです。

これ等は歐米にない極めて優美な事で、唯物質的にのみ鷄を改造し卵や肉の品質にのみ心を寄せ、其方面ばかり改良進歩されて居る歐米に異つた精神的に微妙な趣味を有して居るのは日本だけであります。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

◎今年は辛酉

殊に今年は神武天皇以來二千五百八十一年で、辛酉が四十三回繰り返された年であります。人間は一生に一回還暦を致しますが、國家の還暦は今度で四十三回であります。さういふお目出度い年ですから、私はかねて研究して居る鷄に關する次の問題の結末をつけ度いと思ひます。

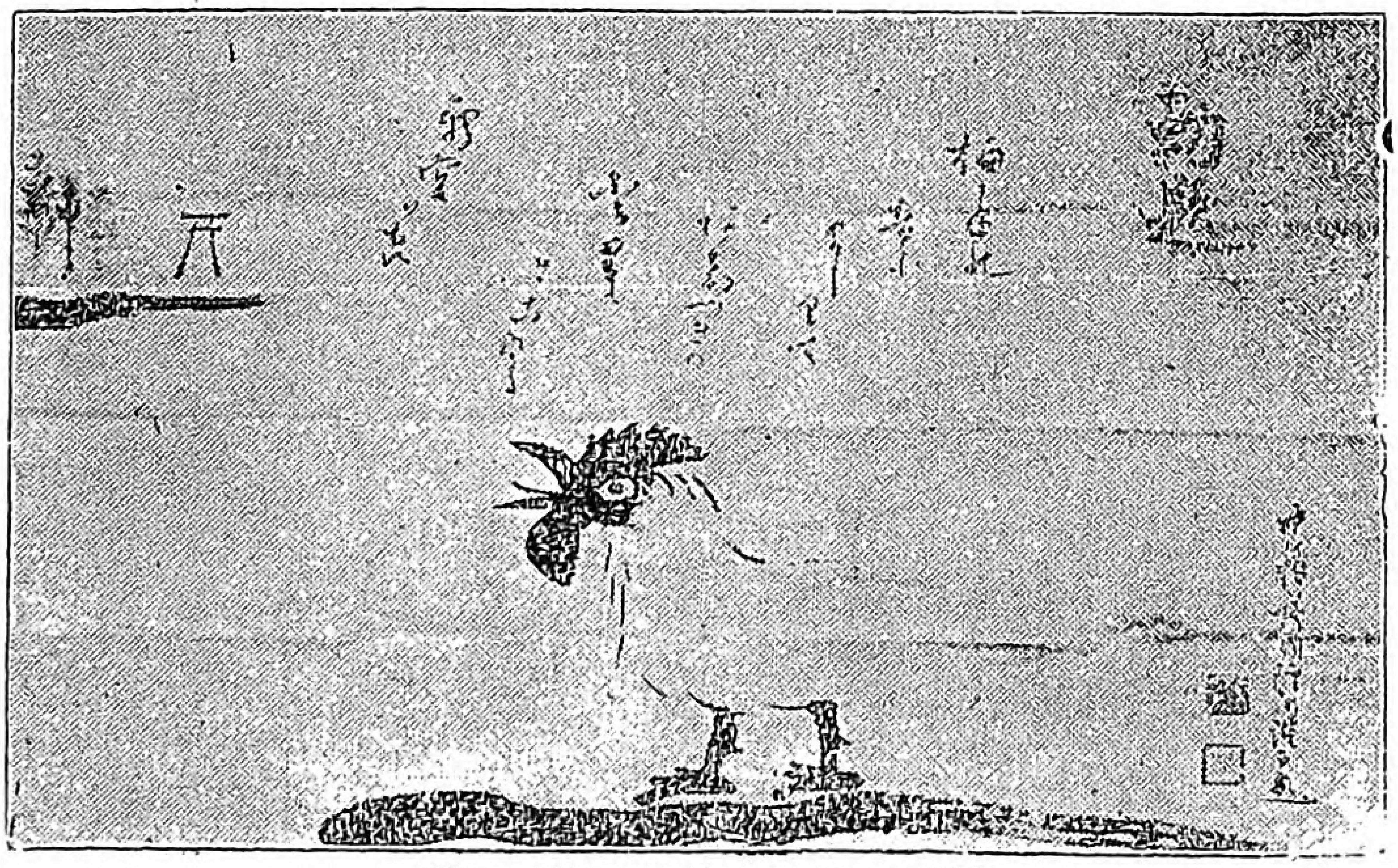
第一、鷄が一番鬨二番鬨をつくるその發動原因は宇宙の大活機と神秘的關係を存して居るのでありますまいか。

第二、「鬨をつくる」といふことは、鷄だけにつける言葉でありますか、この「鬨をつくるといふ言葉は何れの時代から始まつた言葉でありますか。

第三、西洋種のとりは、直しく鬨をつくらない、其原因は何でありますか(日本のかしは、ちやぼは最も正しくときをつくる)

第四、鷄の足が暖まれば鬨をつくると云ひますが果して然らば一番鬨二番どき即ち二時もしくは三時に足の暖る原因如何」

先づ右のやうな問題だけでは、皆さんが研究なすつても面白い事と思ひます。



堀内中將筆

こんな研究をするだけでも、養鷄は面白い趣味的な事ですが、其上一家の經濟上に大いなる助けをするのでありますから、この經濟上の利益も充分あるやうにするのは婦人に最も適した副業であると考へます。

只今日本全國で鷄の數が約二千百萬ばかりありまして、一軒に割あてると約四羽になりますさうして卵は一年に約七億萬個で其代價は千五六百萬圓でありますから、若し鷄肉まで入れたら一年に少なくも三四千萬圓になると思ひます

故に婦人方が精神的にも歴史的にも、物質的にも、趣味をもつて鷄を飼はれたら、日本の富が鷄だけでも數千萬圓の増加を見る事は明らかであります。

且に經濟上に好い結果を見るばかりでなく、歴史に現れた大和民族の美しい情味を自然のまゝに保存する上にも養鷄は結構な事であります。

* * * *

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

心の平和

富士瓦斯紡績會社
本會評議員　辛島寛太

富士瓦斯紡績會社には二千餘名の勞務者がありまして、大多數は處女であります、中央部と關係の深い會社で處女の友も毎號數百部づゝ行つて居ります、辛島氏は主もに女工さんのお世話をして居られます。

幸福は内より

男でも女でもすべての者が、欲望をもつて居まして自分はこれだけのものを目下にして、何でも彼でも自分の思ふ事を指圖してやらうとか、又はいつまでも生き永らへて居やうとか、數限りない望みと願ひを以て生きて居るものであります。そうして、その欲望の充たさるゝ時に誰しも幸福を感ずるのであります。文明とか文化とか申しますのもつまりは人生の幸福を意味するもので、その文明文化といふ事も、智識ばかりで固められたのでは決して幸福でなく、德育も伴はなければ反つて不幸になるものであります。

辛い事悲しい事を我慢して奮闘努力しますのも、云はゞその幸福を得るためでありまして、處女會の事業でも幸福になるために起された事に違ひないと思ひます。その幸福といふものは巨萬の富でもなければ、高位高官でもありません。お互ひの心の平安にあります。決して幸福は外から來るものでなく、野とか山とかに自由に働く人の心から來るのであります。

春の光春の海

春の太陽のみ光り、春の海は、ほんとうに穏やかなもので、平和を表はして居ますが、このやうな平和な心でさへあれば、何時も幸福な日が送らるゝ事と思ひます。

淺みどりすみ渡りたる大空の

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

ひろきをおのが心ともがな

畏くも明治天皇御製に仰せられたのも心の平和といふ事をお表はしになつた事と拜察するのでございます

それなら心の平和といふ事はどうして得らるゝかと申しますと、「求むる事なくして與へよ」といふ事にすぎないと思ひます。

求むる事なくして與へよと申す事は私の動かぬ信念でありまして、人のために仕事をするとか、人に對して親切をするとかいふ場合に、自分がしてやつて居るとか又かうしたらこんな報ひが得らるゝとか、其座作進退に自分のした事に對する報酬を考へず、人が見て居やうが見て居まいが、與へる以外に目的をもつてはならぬと思ひます。

普通の人は、求むる事が多くて與ふる事少なく、自分の利害關係が中心となつて、社會奉仕とか何とか、看板をかけて、人から賞められたい爲めにする人が多うございます。

勞働と遊戲

仕事に趣味を持てといふても、現在の社會狀態では無理な事であると言ふ人がありますが、社會狀態がどうであらうとも、自分に何の求むる處なくして働く考へさへあれば仕事にも趣味が出て來て、何等の報酬を求めずして、與へた時の心の愉快が大きな結果となつて表はるゝものであります。

勞働にしても、遊戲にしても身體を動かすといふ事に變りはないのでありますが、一方には働いて金を得やうといふ他の目的があり、一方には遊ぶ事以外に目的がないから趣味も興味も湧いて來るのであります。

百姓が草を刈るのも、子供が遊戲をするのも、同じ筋肉勞働であります。それを思へば勞働の遊戲化といふ事は求めずして與へよといふ信念がなければ出來ない事と思ひます。

信仰にしましても同じ事で私がある博士から聞いた話でございますが、信州の田舍で大變な財産家の人が

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

眼が惡くて醫者に見せ、あり餘る金の力で名醫のあらゆる療治を受けましたが、遂に兩眼とも見えなくなつて、百方盡きてしまひました。

仕方なく天理敎を三年信仰して、近所の人にもすゝめて、たくさんの天理敎信者を作り、御利益がある事と心まちしてゐましたが、一向なほりませんので遂にその博士に「どうしたら癒るでせうか」と尋ねたさうです。

博士はそれに答へて「それは信仰の方法がわるいからです」と申されましたので、なるほど信仰の方法が惡かつたと氣づき、本當の信仰といふ事に氣がついて生れ變つたやうになつて歸りました。翌朝になつて其人が喜んで、博士の處に來て「おかげて眼がよくなりました」といつて、障子のさんが見えて來たとか、疊の椽が見えて來たとか申したさうです。

■求むる事なくして與へよ

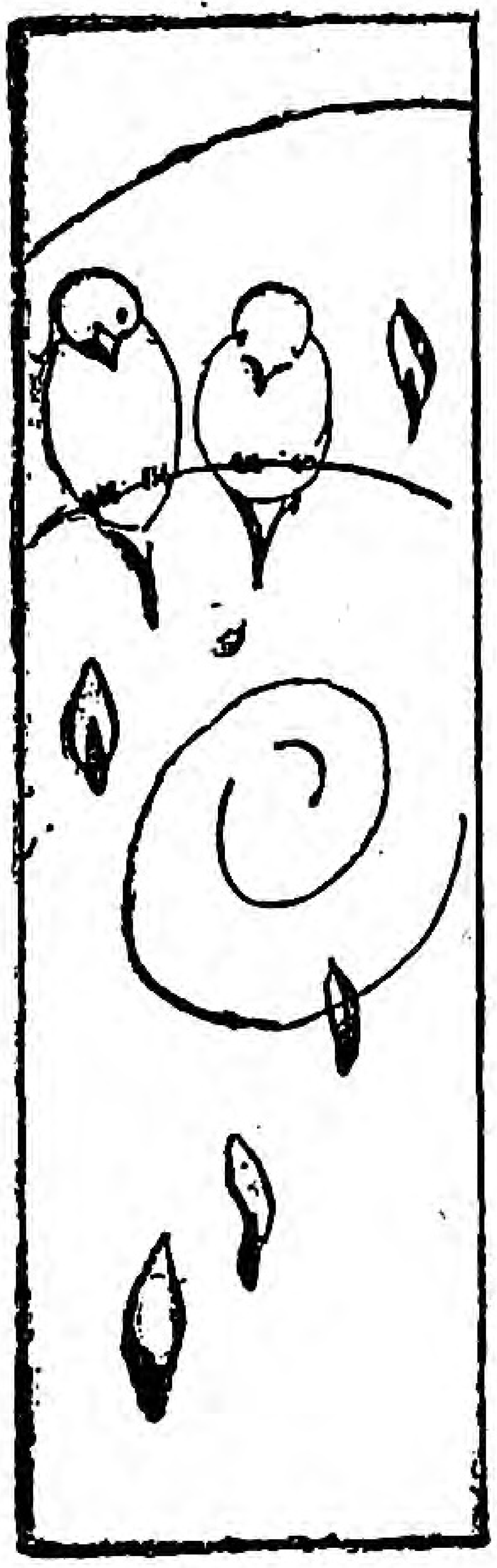
何の求むる處なく、唯一生懸命に、神樣におすがりする力といふものは恐ろしいもので、キリスト敎も佛敎も、儒敎も、すべて宗敎には同じやうな意味が含まれて居ます。

無報酬にして與へよといふ聖書の敎へも、無所得の大所得といふ佛の敎へも、德孤ならず必ず隣ありといふ論語の敎へも、詮じつむれば私が再三申した求むる事なくして與へよといふ意味になるのであります。

宗敎家は何事も神のなすまゝにまかせて、すべてを斷念めよと申しますが、尙進んでは、與へる事は神にまかせず、求むる事なくして與へなければならぬと思ひます。とりわけ婦人は犧牲的の精神を以て母として妻として、萬事が求むる事なくして與へ、酬ひらるゝ事のない勞力に、其日其日を、過さなければならないのであります。これさへあれば女としての、幸福に充ちた平和な生活をする事が出來ます。

餌をはこぶ親のなさけの羽音には
目をあかかぬ子も口をあくなり

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN



ある處女との問答

天野藤男

（上）

みね子『先生私はこの頃何んとなく世の中がたよりないやうな淋しいやうな氣持がしてなりません、病氣でございませうか、それともどうかしたのでございませうか』

『いえ病氣でも何でもありません、あなた方位の年頃になると、一度はさういふ氣持になるものですよ、淋しい、たよりないような氣分のするものです。』

「先生、しかし私の友達なんかみんな元氣で笑つたり、跳れたりして居られますわ、私一人どうしてもそんな陽氣な氣になれません。何んだか、一人ぼつちのやうな氣がしてなりません、先生私しはどうしてお友達と親しくなれないでせうれ」

「一人ぼつち、さうですさういふ氣持のするものです。世間の人がみんな自分に背いてゐるやうな、自分のわる口でもいつてゐるやうな、たよりない氣がする年頃がありますとも。是が昂じてゆきますと、ほんとうに一人ぼつちになつてしまひます、誰も彼もみんないやになつてしまひには、自分で自分がいやになつて、とう〳〵浮世を果敢なんで死んだ女さへあります。」

「先生私もこの頃何となく浮世が果敢ないやうな氣がしてなりませんたゞ何にもしずにヂッとして考へてゐたいのですわ、」

『あなたお友達とあまり遊びませんれ』

「えゝお友達が出來ないんです」

『さうですか？私に言はせると、あなたは、わざとお友達をこしらへないんです。』

「いゝえ、私はお友達が欲しいのですが、一人ぼつちなのですわ」

「いゝえいゝえ、さうでない、私しけふは、あなたに、遠慮なく申しませう。あなたは、自分で自分を一人ぼつちにしてしまふのです、自分で淋しい一人ぼつちだときめ込んでゐるのです、誰もあなたを怨んでゐるものもありません、にくんでゐるものもありません、其だのにあなたのはお友達が、何んだかかげ口いつてゐりやしないかとか、のけものにすればしないかとか何んとか邪推する、さうして、わざと浮世を狹くしてゐるのです。」「…………」

『ネ、是からは、もつと〳〵心を廣くもつて下さい。そして、あなたは、大勢に愛されてゐる、みんなに好かれてゐるとふだん思つて下さい。』

『だつて私がさう思つても、みんな私と仲よくしてくれませんわ』

『いや其は、まだあなたの愛が足りないからです。全

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

體人から愛されやうと思へば、自分が先づ人を愛さねばなりません。人を愛さなくて、自分が愛されやうと思ふのはいけません。あなたは、あなたの愛のすべてを捧げてお友達を愛してごらんなさい、きつとあなたも愛されます』

『…………』

『私の親戚に先妻の子供を育てゝゐる繼母が居りますが、そのお母さんは、人が來ると、「この子は少しも笑はない、變な子ですよ」といつて吹聴します。けれど、私に言はせると、其は子供の罪ぢやありません、お母さんの愛がまだ足りぬからだと思ひます心からその子を愛の懷へ抱き入れるなら、きつと子供はなつきます。お母さんの愛の光が、子供の心に映るのです。ほんとうに愛してゐなくて、只頰をつゝいて、笑つてごらんと申しましても、子供は笑ひませんわ、何でもこの世は愛です。』

『先生はいつも愛、愛と仰言いますが、すべての人が愛し合ひ、信じ合ひ、兄妹のように親しみ、合ふ世界が出來るものでせうか』

『出來ると思ひます、いゝえさういふ愛の社會、愛の世界をつくり出さねばならぬと思ひます。出來ないといふのは、つくらないからです、つまり人間の心掛がよくないからです愛が足らぬからです、萬人がさもしい慾とか、嫉妬とかを洗ひ去つて、愛と愛とを以て接し合ふやうにすれば、きつとさういふ天國が出來ると思ひます、何百年、何千年かゝるか知りませぬが、私たちは、さういふ社會をつくる爲に働かねはなりません、苦しまねばなりません。その爲に私共はこの世に生れて來たのです。只食ひ、只遊ぶ爲に生れたのぢやありません。生涯の中、少しでも、世の中の人が仕合せになり、この世の中が住みよくなるやうに、骨折らねばなりません。すべての人がこうして骨折れば、時代が經つ每に、この世の中は住みよい、いゝ世の中になりませう。こういふ働きを餘計にした人ほど、尊敬される人と思ひます』

『…………』

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

『昔はエライ人と申しますと、男の子はみんな英雄豪傑を思ひ出し、其を理想として居りました。國の危ふい時に、馬を陣頭に進めて、敵の首を多く取つた人がエライ人でした。けれども、平和な時代のエライ人はかういふ働きをしないでも、忠義も出來ます、孝行も出來ます。勿論昔の戰爭だとて、道樂に人の首を取つたのではありません。正義の爲につまり正しい人の幸福を邪魔する惡魔を討つたのです。つまり愛の戰爭だつたのです。しかし、どちらかと言へば、人を殺さずに敵を愛して、善人にしなければなりません。加之に、もうこの世界には、戰爭はありません。これからのエライ人は、大勢の人を愛し、大勢の人と仲よくして、その上に、この世の中を暮らしよくする爲に、働き、苦しむ人です、その人がゐる爲に、その家の人が仕合せになり、その村の人が仕合せになり、その國の兄妹が幸福になるといふやうな人こそ、ほんとうにエライ人です、尊敬すべき人です。私達が勉強するのも、いろ／＼の技術を覺えるのも、つまりこの世の中を仕合せにする爲です。只裁縫を覺えて人に誇らうの、學問を覺えて人に見せびらかさうのといふ爲ではありません。世の中を仕合せにする爲の手段として、智識を覺えるのです、技術を習ふのです。おいしい食物を食べるのも、只舌の先きを喜ばせ、身體をふとらせる爲ではありません。滋養物をたべると、身體が丈夫になつて長く生きて、長く人の爲に、世の中の爲に圖ることが出來るから、其でおいしいものが食べたいのです、人に害を與へる盜賊なんぞは却つて長命しない方が世の爲です。けれども、人は生れながら惡人はない、きつと後悔すれば、善人になつて、却つて世間の爲に働きませうといふ愛の目から、國家は監獄に入れるのてす監獄は苦しめる所でなく、善人にする爲の學校なのです。みね子さん、あなたどう思ひます』

「…………」

「ネ、何でも愛で說明が出來ませう。受けるにも與へるにも心地よいものはこの愛です。是からは、只田舍娘だから働け、まつくろになつて働け、働いて貯金しろといふように話すのは、どうかと思ひます。この世の中を仕合せにする爲に働け、大勢の人が幸福になる爲に働けといひたいのです。あなたがい、着物を着てゐるのも愛ですよ、大勢の人がみて、

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

美しい着物だと思ふと、其丈いゝ感じをもちます、「あんなにキチンとした着物を着せて下さるお母さんはどんなにいゝ方だらう」と世間の人がほめませう。するとお母さんの德も高まります。お家の名譽でもあります。若い娘がいゝ着物を着たがるのも、つまり品をよくし、人によい感じを與へたい爲でせう。其を誤つて、大勢に見せびらかす爲に、着たがる娘がふえたので、私どもは、よい着物を着てはいけない〳〵と言ふのです。見せびらかす爲にいゝ着物を着る。お金のない家の娘さんは着られない、美しいと思ふ、せつないと思ふ。見せびらかして美しい着物を着た爲に、貧しい家のお友達を苦しめたことになります。つまり世の中を仕合せにする邪魔をしたことになるのです。お化粧もさうです若い娘ですもの、少しはお白粉もつけませう。けれど、其も娘としての品をよくする爲に、又大勢の人によい感じを與へる爲のお化粧でなくてはなりません。只コテ〳〵塗つて、若い男なんぞを迷はせるようなまねをしたり、お友達に自分のきりようを誇るようなお化粧は、いやしいお化粧なのです。つまり愛のお化粧でなくてはなりません。何んだかむづかしくなりましたネハ、、、」

「先生のお話で胸が開けて來たようですわ、私しもう決して一人ぼつちだなんぞとは考へませんわ、大勢を愛しませう。私は愛が足りなかつたのです。もつと〳〵胸を廣くして大勢を愛しませう。」

『さうです、女は殊にこの世に愛を宣傳する爲に生れて來たんですもの、處女會も愛を宣傳する爲に設けられたのです。婦人運動も愛から起らねばいけません。禁酒もさうです。酒は家庭の平和、町村の平和を害するものであるから其を除いて、家をも、村をも仕合せにするといふことから起らねばいけません。亭主が酒を呑むから金がかゝる、お酌するのが面倒だといふようなことからではいけません。說く人も愛、受ける人も愛、愛といふ字をごらんなさい、受ける心とかいてあります。あなたはおいくつ？』

『とつて十九になります』

『ウム、たのしい時ですね、花ならば蕾、植木なら早苗のころ、大勢に愛されつゝ、たのしくすなほに生長しなければなりません、さうして、あなたの姿も、心も、大勢の人を喜ばせるようにせねばなりません。あすこの娘は、愛嬌がある、なつかしみがある、と大勢に愛されるやうにならねばいけません。愛嬌といふのは、心の愛が顏に現はれたことです。只お白粉ばかり紅ばかり塗つて、ニヤ〳〵笑つてゐるのは、愛嬌ではありません。乙女の愛、その淸い愛を以て凡ての人に對し、この世界を淸く美しい天國にして下さい。其が大きな女の使命ですよ、男だけの世の中は殺代です、女があつてはじめて調和がとれるのです。女は社會を美化する女神です』

『先生わかりました、もう〳〵淋しい心を起しません廣い〳〵愛の心でこの世の中を渡りませう。』

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

五圓金貨を拾つた少年の話

（一）

私の父は貧乏で、其の上子澤山で、私の下にまだ六人もあつたので、私は八歳の時或地主の所へ奉公に遣られました。旦那は慈悲深い道理のわかつた人で、よく敎へてくれました。「子供のうちは躾が大事だ。ぶら〳〵させて置くのは善くない。」といふので、私は毎日仕事があつたが、遊びたい盛り故、つらくてなりませんでした。或土曜日の夕方、旦那の用で隣村へ行つた歸りがけ、見ると、薄暗い路傍に鼠色の紙に包んだ小さなものが落ちてゐる。いたづらに蹴飛ばすと、チーンと音がして何やら轉がり出たので、驚いて見ると、黄色い圓いきら〳〵と光つたもの。銅貨しか見たことのない目にはいくらとも分らず、ひねくり廻してゐるうちに、目についた五といふ字「や、五圓だ。占めたぞ。嬉しいな。いや〳〵、拾つたものを默つて取つて置いて善いか知らん。いやいけない。落した人があるのだらう。でも綺麗だなあ。欲しいな。誰が落したのか分りやしないんだものを。」こんなことを思つて、それを袂の中へ入れたが、珍しくて入れて置くことが出來ない。すぐ取りだして見、人に逢ふと大急ぎで隱して、それから歸つたが、歸つても、人に知れたら取りあげられるだらうと思つてびく〳〵して居ました。

（二）

惡いことは出來ないもので、人に顔をぢつと見られると、何か顔に見えてゐるのではあるまいかと正面に人を見ることが出來ず、其の晩寢床へ這入つても、何だか心配になつて、少しも寢られませんでした。翌朝起きると、頭がふら〳〵して神經が過敏になつて、少しの事にもびく〳〵して、朝飯の時、旦那に「こら。」と呼ばれると、胸がどきりとして、きつと金貨のことだ、「何處で拾つた、なぜ默つて居た、不埒な奴だ。」と言はれるに相違ないと思つて、眞靑になつて前へ行くと、「傳の所へ行つて、「明日仕事に來てくれ。」と言つて來い。」とのことでした。傳と云ふのは出入の小作人です。

まづよかつたと家を出て、人のゐない處まで大急ぎで行つて、袂から金貨を出して見ると、綺麗だ。ぴかぴか光つてゐる。だが心配だ。あ、〳〵、拾はなければよかつたと思つたけれど、何も人の懐へ手を入れて取つたのではなし、それに落し主が知れたら返す積りだものと色々に自分に言譯をしながら、傳爺さんの處へ行きましたが、留守でした。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

（三）

すぐに家に歸つて來ると、おや、門口に馬が繋いである。それは山地といふ警部さんの馬だ。おどろくまいことか、きつと私をつかまへに來たのだとおもひ込み、庭から裏へ拔けて小さくなつてゐると、警部さんは歸つてしまつた。家へ這入ると、旦那は腹を立ててゐる樣子。こは〴〵前へ行くと、たゞ使が遲かつたのを叱られたばかり、やつと胸を撫でおろしました。

どうやら旦那は知つてゐない樣だが、氣になつて氣になつてならない。あゝ〳〵、拾はなければよかつたいつそ元の處に捨てて來ようかと、元の樣に紙に包んで見たものの、どうも思ひ切つて捨てられない。しかし何となく怖くて苦しくてならない。

（四）

其の晩、又傳爺さんの所へ使に行きました。今度は家に居て、「明日は伺ひます。」といふ返事。歸る道々も、私は盜人かなんぞのやうに、こそこそと人の居ない處をよつて歩きました。幾たびも自分で盜んだのではないから、惡いことはない、惡いことはないと辯護して見るけれども、氣が咎めて苦しくてなりませんでした。

翌朝起きると、もう傳爺さんは來てゐて、旦那と何やら話最中でした。此の人は貧乏人でしたが正直者で能く働くので、皆に好かれてゐました。聞いてゐると、傳爺さんが、「旦那樣、わし、此の間とんだ目に逢ひました。ひつきりなしに十五日稼いで、大枚五圓金貨一つ儲けましたが、それを落してしまひました。」私はそれを聞いて、胸がどきりとしました。「わし、金貨を始めて、見たが、目が覺める樣な綺麗なので、銅貨と一緒にするのは勿體ないと思つて、紙にくるんで懷へ入れたつけが、どうしてか途中で落し、家へ歸つてから氣がつき、さあ大變と戻つて方々探したが見つかりません。もう拾はれて了ひました。」

（五）

そばで聞いて居て、穴へでも這入りたいやうな氣持怺へきれなくなつて、袂から金貨を取出して、そこへ走つて行き、「見て下さい、それなら是はお爺さんのか」と言つたつもりなのが、聲が低くて戰いて居たので、誰にも聞えなかつたらしい。つらいのを我慢して聞えるやうに拾つた來歷を話しました。皆が驚いて私を見つめている。すると旦那は改めて、「何日に何處で拾つた。」と尋ねられた。私は泣きながら、すつかり隱さず話しました。屹度ひどく打たれるだらう、怖いな〳〵と思つてゐると、旦那は手で私の頭を撫でて、優しいこゑで「泣かんでもよい。正直者だ、正直者だ。もう少しの所で惡者になるのであつたのに感心〳〵。懺悔にはどんな罪も滅びる。これに懲りて、決して〳〵不正直をしてはならぬぞ。」と言はれました。私は今度は嬉し泣きに泣きましたが、氣が清々して何とも云へない心持。あゝ人は正直にせねばならぬものだと悟りました。

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

懸賞特別 一等賞

私の崇敬する婦人

貞節の才媛税所敦子女史

山口縣　清木菊子

私は忠孝慈貞の美はしい德をもつて前半生を輝かし、後世は掌侍、正五位の名を以て末永劫まで、名譽かくれなき税所敦子女史を最も崇敬致します。女史は京都に生れ、京都に育ちました、優美艶麗の婦人でありましたが、縁あつて、鹿兒島出身で京都に勤めて、居られました税所篤之氏の後妻として、嫁せられましたが、不幸にも嬰兒を懐にして早く夫に別れられました。其當時鹿兒島の風習として、同郷人の外は他所者として、非常に賤しめる有樣でした。其の姑に當る人も京女の敦子女史が新たに我家に同居する事を大變に嫌はれましたけれども敦子女史の强い道德心は、一旦嫁した以上あくまでも其家のために全身を捧げて、姑のお氣の和ぐやうにするといふ信念を以て、はる／＼鹿兒島まで行つて姑に孝行をしやうと決心されました。普通の婦人でありましたなれば、まだ交通不便な其時代に、たとへ夫と同道であつても、なか／＼自ら進んで參る者はありますまいに、まして夫もなく氣むづかしい姑に孝行するために遠い九州の果まで誰が快く參りませう。己に克つ勇氣に富み、志操の堅固な敦子女史は、自ら奮つて長途の旅も厭はず鹿兒島に行き、自分が京都から持つて行かれた衣服調度は、殘らず先妻の腹に生れて鹿兒島に在る女に與へてしまひ、自身は粗衣に甘んじて、日夜老いたる姑を看護されました。其姑の好きなものはどんな無理をしても調いて、姑の口に適したやうにつとめましたので、今まで女史を嫌ふた姑も、程なく其心がけに感じ遂に女史を杖とも柱ともたのむやうになりました。これらの美しい行は人情

乃木靜子夫人　　矢島楫子女史

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

日本の名婦と花

昔から日本で名高い婦人を花にたとへて見ませうそしてその一人一人の善い處を眞似するのは私共にとつて無駄な事でないと思ひます。

橘媛（秋海棠）

約千八百五十年前の人日本武尊の妃で尊が夷蝦征伐の途中海が荒れたので犧牲となつて海に飛び込み尊の無事をいのられました。

衣通姫（見見草）

約千四百五十年前の人その姿美しく、歌が上手で心も優しい人でした。今尙和歌の神としてまつられてゐます

和氣廣虫（百合）

約千百五十年前の人忠臣清麿の姉さんです。情け深くて、多くの人を助けました。

中將姫（蓮）

約千百年前の人音樂が上手で九歳の時に箏を宮中で奏して賞められましたが繼母に殺されんとしました、半生を助けられ佛敎を信じて、一生を終りました。

小野小町（櫻）

小町は大變美しく和歌が上手で衣通姫の歌ぶりに似てゐます。その傳記が明らかでありません。

紫式部（藤）

約九百五十年前の人幼い時から才智すぐれ後源氏物語といふ有名な書物を書き日本一の才女とまで人に言はれる程の人でしたが少しも高慢な所はありませんでした。

がだん〳〵と薄くなり、新しい思想が誤つて傳へらるゝ今日、私は充分に心に止めて置かねばならぬ事と思ひます。

二等賞

乃木大將夫人の美徳

栃木縣 長澤すみ子

乃木大將夫人――私は夫人の美徳を頭に深く刻み込んで崇拜いたします私共が將來妻となつて夫に對する務は總べて夫人によつて現れ、夫人によつて、模範を示されて居るやうに思はれます。壯烈な乃木大將を武士の手本として、櫻にたとへますなら、大將夫人は婦人の鑑として、雪中の梅にたとふべきでありませう。質素であつた事、忠實であつた事、謙遜であつたこと、姑に孝、夫に從順、數へ立てたら數限りない其美徳は、皆私たちの將來に於ける妻としての模範でありますまいか。忠勇義烈の夫の死を眼前に見て、少しも狼狽せず、己も亦從容として、自刃された雄々しい態度も、日頃の修養が充分に積まれてなかつたら、到底普通の人の眞似する事も出來ない事と思ひます。日本の婦人として心掛くべき德行は、乃木大將夫人によつて、殘らず示されて居ると信じ、朝夕に夫人を崇拜して居ます。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

小式部内侍（撫子） 紫式部と同じ頃の人で幼い頃から和歌が上手でした。

清少納言（コスモス） 約九百五十年前の人やはり同じ頃の人で才智に長けて、男子も及ばぬ程の學者でした。枕の草紙は名高い著書です。

常盤御前（女郎花） 約七百五十年前の人氣の毒な婦人です、我子の頼朝、信頼、義經を育て、源氏を興し度いばかりで清盛の妾となりました。

巴御前（梅） 約七百五十年前の人源義仲の妾で美しく勇ましい婦人でした。義仲が戰死して、廿八の若い身で尼になりました。

靜御前（虞美人草） 約七百五十年前の人白拍子に似合ぬ健氣な婦人でした。義經が兄頼朝に憎まれて、諸所落ちのびた間慰めて義經に一身を捧げました。

尼將軍政子（孔雀草） 約七百五十年前の人心の强い傑い婦人でした。源頼朝に嫁し、頼朝の死後鎌倉で、幕府の政治を自分の思ふ通りにしました。

板額（菖蒲） 約七百年前の人强い女でした。自分の幼主が叔父の敵源頼家と戰をする時に、最先になつて働きました。

楠正成の妻（橘） 約六百年前の人我子を立派に育て、見事に君のおために戰死をさせ名を後の世まで殘した婦人です。

□□□ 記者の評 □□□

私だちは何か根强い信念をもつて、其朝夕の事に當らなければならぬと思ひます。それにはどうしても何か崇拜し、尊敬する中心人物を見出し其美點を眞似やう眞似やうとする心掛が肝心で、それによつて私共は一日一日とよい方に進む事が出來るのであります。「强くやさしく眞面目に働け」といふ語は處女會として忘れてならぬ語ですが、それを實行した人はどういふお方であるかといふ事を知つて、その行ひの一端でも眞似るやう修養するのが、私共に必要な事と存じまして皆樣に「私の崇敬する婦人」についてお尋ねしましたら、皆よく出來ました其中で最もよいと思ふのを二篇だけとつて賞といたしました。上に列記しました日本の名花は、それ〲勝れた點を持つて、昔から名高い婦人です、御參考までに記載しました。

賞外

矢島楫子女史

福島縣 土屋しの子

現代婦人中崇敬すべき人物は、たくさんありますが、私は先づ第一に矢島楫子女史を崇拜します矢島楫子女史は八十八歳の高齢で、はる〲英米まで旅行されて、日本婦人の意氣を示された程の熱心家で、我國で最も古い婦人矯風會の會長で、禁酒廢娼を主義として居られます。

禁酒も廢娼も大事な事で外國に對しても、大酒家や、醜業婦の多い事は大へん面目ない事です。のみならず一般に害毒を流し、悲慘な事實のある事を少なくするやうに務めなければなりません。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

北政所（野菊）

約三百五十年前の人秀吉が低い身分の時から見込んで嫁し、共々に苦勞を忍び秀吉の出世してからも昔を忘れなかつた、つゝましい賢夫人でした。

細川忠興夫人（水仙）

約三百年前の人明智光秀の娘、父の不忠のために夫と離れて十二年、貞操を守つて居ましたが、再び夫と同棲して、間もなく、健氣に城を守つて死ぬ

木村重成妻（梨の花）

約三百年前の人忠義な夫に貞淑な妻ほんとに美しい家庭でしたが不運にも大阪方の敗北に、夫をはげますために自ら先立つて自刄しました。

淀君（牡丹）

約三百年前の人美しい顔、勝れた才智の持主でした。秀吉の死後思ひのまゝに、大阪城を指揮して居ましたが、運惡く滅びました。

春日局（山茶花）

約二百五十年前の人強くて正しい婦人でした。德川三代將軍の乳人として忠義一途の働きぶりは、並々でありませんでした。

乳人淺岡（萩）

約二百年前の人伊達騷動に現れた忠義な婦人です。我子を捨てゝまでも、幼主龜千代を守り通した犠牲的精神には人を感動させます

稅所敦子（菊）

約五十年前の人才色兼備の德高き婦人でした夫に事へて貞、姑に事へて孝晩年は君の御ためにつくして寵をうけました。

「處女の友」二月號に「矯風會と處女會とは協力して將來この禁酒や廢娼に力をつくす」と記されてあつたので、非常にうれしく感じました。

私は母を崇敬します

長野縣　瀧澤やよ子

私の最も崇敬する婦人は母で御座います……それは私として崇敬する婦人は今昔東西併せて數多くの婦人が御座いますけれど私としては母を最も崇敬する婦人として第二に數多くの婦人を崇敬して居ります。なぜ母を第一に崇敬婦人と云ひますに私共は母いえ父母あつてこそこの世へ生れる事が出來たので御座います、そして今日に至つてあの方をこの方をと云ふ樣に崇敬する婦人を見分ける事の出來る樣になつたのも元を正せば皆母なる人の力であると推察する事が出來ます。……胎教から始まりして幼時代の敎育、靑春時代の敎育是等の時代に於きまして母の感化と云ふものは實に莫大なるものであると思ひます、……で私は第一尊敬する婦人は母と書いたので御座います。

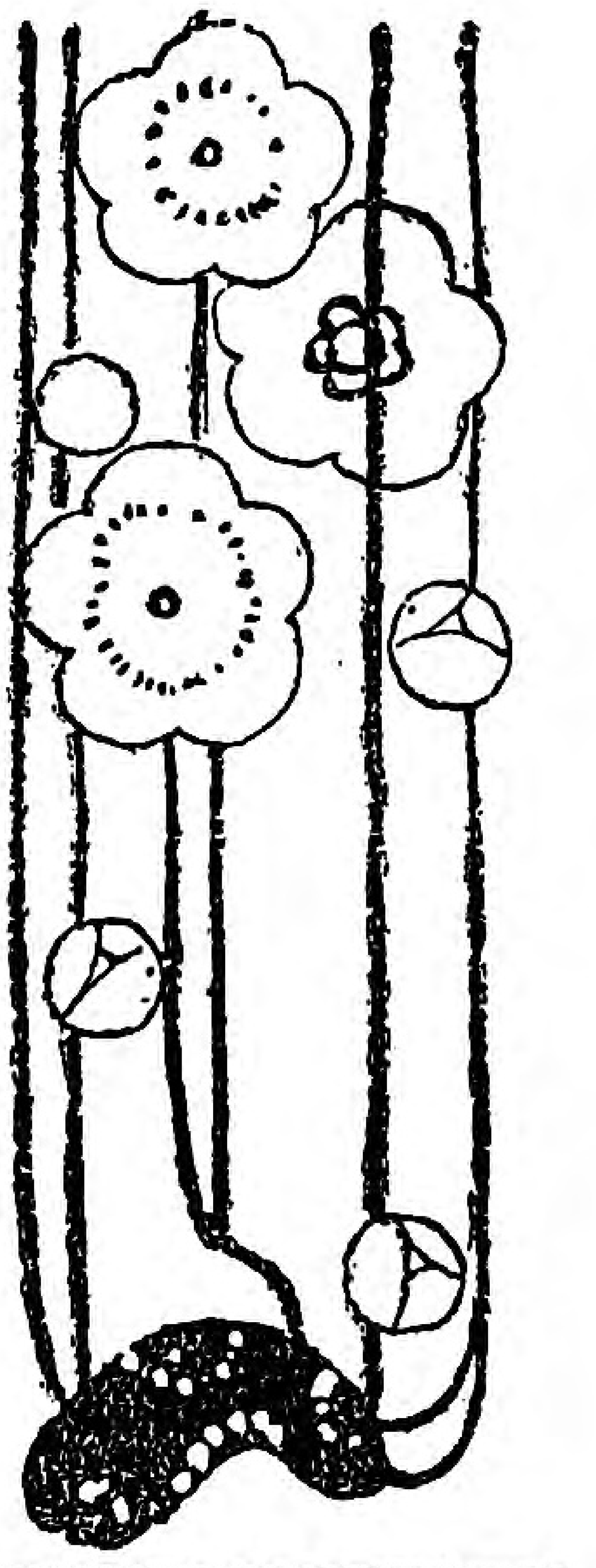
左に母に付いての眞似すべき點を上げます、

愛の力、……私共に對する理性……理解……是等の事に付いては最も眞似すべき點だとおもひます其の外眞似すべき點は御座いますけれどざつと記したので御座います、……母の理解力のあることなどは私共このごろつくづく感じるので御座います、あゝ我が母の吾等に對するあたゝかき愛情又冷やかな理性明るいような理解力の持ち主たる母を持つて實にうれしく思ひます。

ふまれても根づよく忍べ路芝のやがて花咲く春をこそまて
佛とはいかなるものと思ひしに何も思はぬ心なりけり

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

氣轉數個條



○○○鍋の油が燃えついた時○○○

よくケンチンや揚物をします時、あまり火の力が强すぎるために、鍋の中の油が燃えつく事があります。さういふ時に驚きあはて丶色を失ひ甚だしきは水をかけるやうな人があるかもしれません。さういふ時によく落ちついて、側にある青菜をなげ込むと不思議に消えます。油をあつかふ時に青菜を用意しとく事は氣轉の一つです。

○○○果物と紙○○○

お客樣に果物を出す時には、必ず紙を揃へて出す事です、果物の汁は衣物につくと汚點になりますから、果物でよごれた手で衣物にふれる心配のないやうに側に紙を用意しなければなりません。殊に蜜柑の皮をむく時は折角のお客樣が手が黄色くなつてしまひます。

> 吉野山の雪かと見れば
> 雪にはあらで花の吹雪よ
> 笠を片手に皆樣さらば長の
> 御世話になりました。

○○○お客樣と下駄○○○

お客樣がお歸りになる前に、きちんと下駄を揃へるのは、お客樣に對する禮です。又自分が他所のお家に行つた時に、一寸上りがけに下駄を向ふむけて上るのは、主人側の手をはぶくための親切です。

○○○葡萄酒をこぼした時○○○

白い卓掛の上に葡萄酒をこぼした時、直ぐに鹽を少し撒いて置きますと、後で洗濯する時にすぐとれます。氣の小さい婦人客など、こんな過失をすると、大變氣の毒がりますから、こうして置くと何でもありませんと鹽一つまみ撒つて置きますと、客の氣を休める事が出來ます。

○○○客膳のゆとり○○○

客に御馳走をする時、人數が五人なれば、必ず六人前の用意が必要であります、これだけのゆとりがありませんと、もし過つて落したり、こぼしたりした時、お代りがないと、どんなに辛い思ひをするでせう。

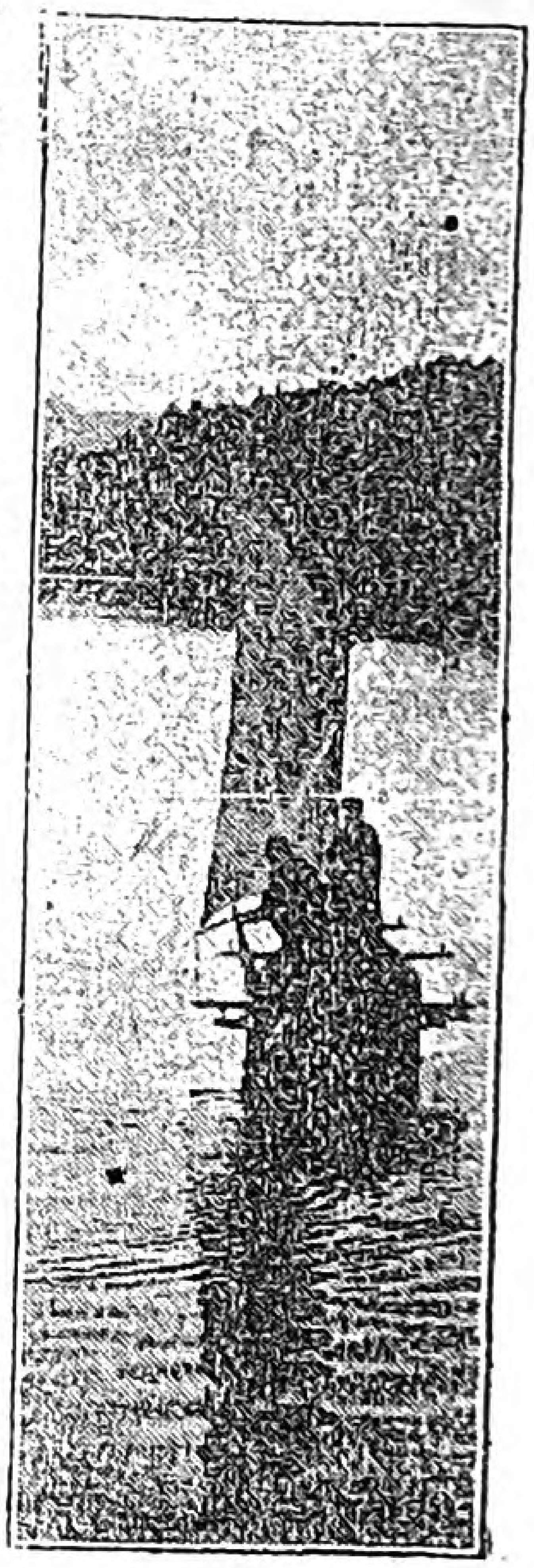
○○○酢の保存法○○○

暖くなりますと、酢が惡くなり易うございますから、其取扱ひにも注意しなければなりません。これを防ぐために、酢を買つたらすぐに上等の食鹽を酢一合に一匁の割合に入れて良くかきまぜますと、惡くなりかねます。

○○○下駄の表を綺麗にする法○○○

布に酢をすこし濕して、汚れた所をきれいにふきとり、淸水で拭けば、新らしいものゝやうになります。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN



春雨

白雲

嶺の雪がとけて春霞がたなびき、しだれ柳が新芽を吹く頃に、しとしとふる春雨は、のどかな氣分のするものであります。涙にたとへると五月雨は新嫁の口惜し涙、夕立は晴れの勝負にまけた力士が大聲あげて泣くやう、芭蕉の朽葉をふら〳〵うつ秋雨を病女のすゝりなきにたとへると冬の雨は浮世を果敢なんでしく〳〵泣く老女のやうです。そしてこの春雨は、やがて嫁ぐうら若い乙女が、母親の懐に甘へながら名殘惜しさに泣く嬉し涙のやう。

春雨は海棠にもたんぽゝにも、さくらにも、池のみぎはに咲くあやめにもよく調和して何んとも言へぬ趣を添へますが、わけても春雨と柳とはつきもので歌にも

青柳の枝にかゝれる春雨は
糸もてぬけるたまかとぞ思ふ

大方はふるともわかぬ春雨を
集めて見する糸柳かな

などゝ風雅に詠まれ、俳人も

つく〴〵と雨の柳を見る日かな
柳から眠さそふや春の雨
傘に押しわけ見たる柳かな

窓を開けると、ゆふべの雨が名殘なく晴れ渡つて庭は洗つたやう。堤に登りますと心ゆくばかりに春雨の乳を吸ふて土筆坊がニヨキ〳〵と頭を出してゐます。この趣を詠んだのが

春雨にたゝき出したり土筆坊

雨だれの音を聞きながら針仕事などしてゐますと、幼い頃のことやゆく末のことなどそれからそれへと走馬燈のやうに思ひ出されて、落ち付いた氣分の中に、何となくさびしいやうなたよりないやうな心地もします

春の雨弟どもを呼んで來よ
春雨に一人は欲しき妹かな

春雨は詩歌に詠まれるばかりでなく畫家の畫筆にも、溶け込んで畫絹にも美しく現れてゐます。よく畫題となりますのは緋桃の花を散す風情でありますが、春雨と渡し舟は一入よい調和で、若し舟の中に蛇の目傘さした里歸りの新妻がゐますれば、尙申し分のない情景でございませう。

春の眠りのまだ眼がさめぬ
にはの小鳥におこされて
ゆふべはげしき雨や風
花の散るので知るわいな

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

□新□子□守□歌

天野生作

坊やはよい兒だねんねしな
坊やのお家はよいお家
坊やのお村もよいお村
家柄村柄よい上に

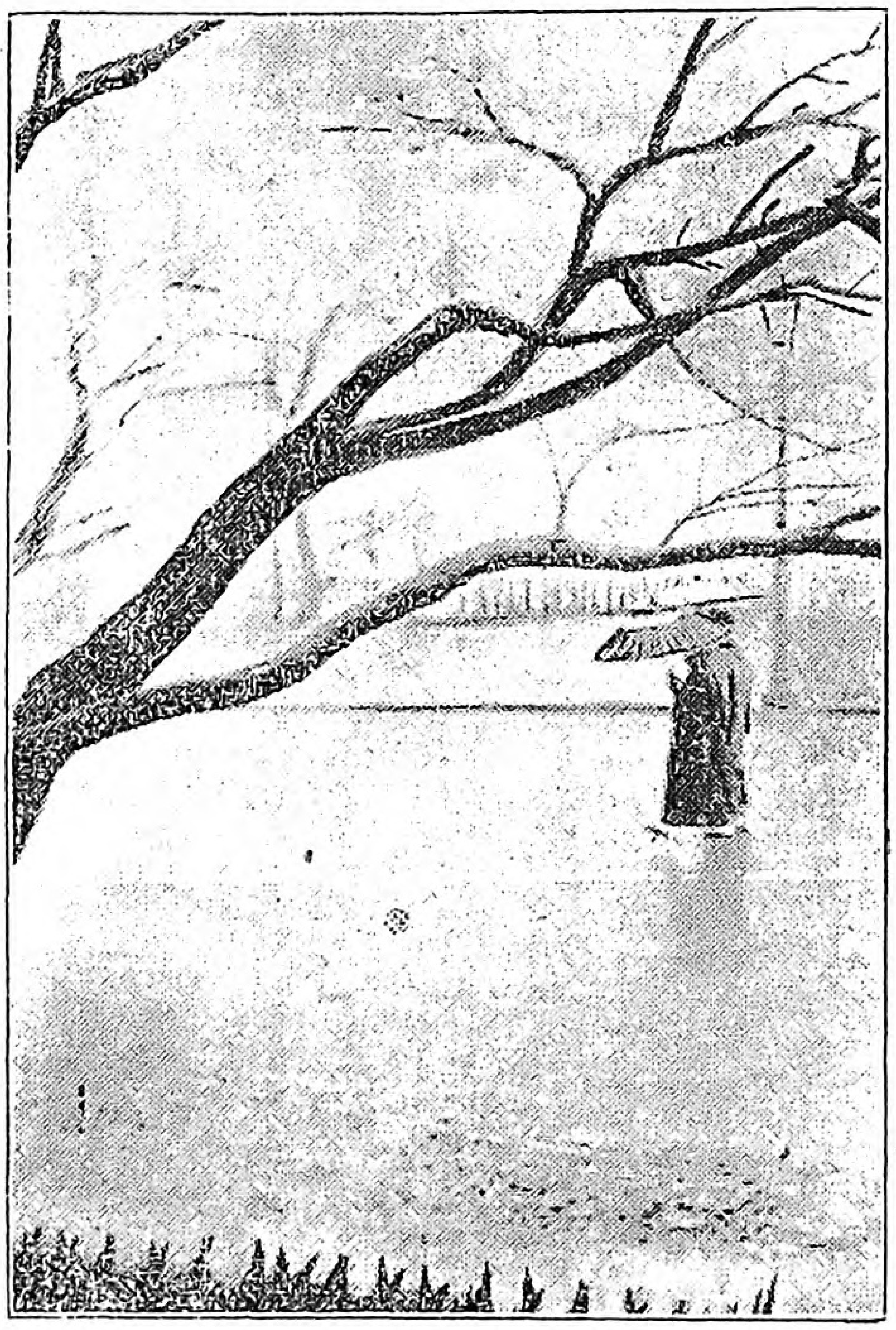
坊やのお國は世界一
坊やは大きくなつたなら
何んになります大將か
何んになります大臣か
大將大臣よいけれど
其より坊やはよい人に
なつて下さいたのみます

つよく優しく機嫌よく
父さん母さん大切に
兄妹仲よく睦ましく
まじめに働き人の爲
つとめる人がよい人よ

かういふお人がふえたなら
坊やのお家は榮えます

かういふお家がふえたなら
坊やのお村も榮えます
お家やお村が榮えたら
其こそお國は世界一
其こそお國は世界一

春雨　（前のページに除れ）



郵便函の歌

花の都のまんなかの
郵便函の申すやう
さてもいそがし我等ほど
せわしきものはまたあらじ

朝はひきあけ夜は夜ふけ迄
入れると出すそのあけたてに
ばたりばつたりばつたりこ
差入口の休みなし
先づ郵便の品々は
封書おび封開き封
おうふくはがきなみはがき
そのいろ〳〵の郵便の
文字もいろ〳〵出す人も
受けとる人もさま〴〵や
さても便利の御代のかげ
四國九州何のその
北は千島のそのはてまでも
南琉球臺灣までも
親子兄弟友達どうし
たより知らするいながらに
わけてなつかしいこの女もじ
お春どのには花かんざしを
太郎どのには運動しやつを
臨時試驗の出來ばえ次第
おばがほうびとかいたるはがき
子たちさぞかし郵便函の
われらが見てさへいとゞたのしや

（坪内逍遙）

上京して苦學したい

光子さんから

先生私は三年前、小學校の高等科一年を修業いたしまして、女學校の二年に入學させて貰ひました。その頃は私の家としては、少し學資が無理だつたのでございますが、小學校の先生が度々來て下さいましてこの子は勉强好きだからといつて、父に進めて下さいましたので、やつと入れていたゞけたのでございました。けれどその後間もなく

母は流行感冒で

三人の弟と私とを殘して逝つてしまいました。父は途方にくれ、私は弟を慰めることも出來ずたゞ涙の日ばかり續きました。天にも地にもかけ換のない母様、私が女學校を出る日をたのしみ弟の成長を心から喜んでくれた母さんはもう歸らぬ人となつたのでムいますそこへもつてきて父は、氣の毒だがもう思ひきつて、

學校を止して子供の世話

をしてくれと申します。私は、あゝ私にはまだ一つ悲しみがふえたのでございます。けれどどう考へてもいたし方がムいません。それからは温い先生親しい友達に別れて淋しい家に小さい母となつて朝はひきあけから夜は夜更くる迄一生懸命働きました。三度の食事の世話から掃除洗濯小使迄休む暇なく働きました。勿論本一つ讀む暇はムいません上に習字の練習さへ出來ないのでムいます。

台所の隅でひゞに割れた手をふくときあつい涙がこぼれますけれど先生私は母のない子だと後指ざゝれる様な人となつては逝つたお母さんにすまないと、

涙を呑んでは

働きました。然し一時も勉强したいといふ心は、忘れることが出來ません。友達の誰れ彼れが羨ましくてなりません。そのうちに春はゆき、秋は老ひ、冬も去つて三と世を過してしまいました。そして私は十八歳になつたのでございます。あゝ先生私はどうしたらよい

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

のでございませう。月日は關守なく流れてまゐります**一生に一度の勉强時代**は、再び巡つてはまゐりません。弟は大きくなりました。今年はどうしても勉强することを許して貰ひたいと父にたのみました。けれども父の申しますには、

「お前の心はふびんでならぬ好きな學校へも出してやりたい。けれどおれもいつ迄生きてゐることぢやない。大きな息子でもおればこんな苦勞はさせまいが、どうも思ふ樣にならぬ。それに今年は損ばかりして、米はやすくなるしもうけ仕事はなし、こんなに不運が續けば、とても勉强どころのさわぎぢやないよこれでなか〳〵父さんも苦勞が多いんだ」やさしい父の言葉をきいては私も胸が一杯になります。このごろめつきり老ひぼれましてふさいでばかり居ります。私はいとほしくなります。

あゝすまない〳〵

賞

なかよし

（宮城　平岐愛子）

と默つてしまいます。あゝけれど〳〵私はいつになつたらこの心のまゝに勉强が出來ませう。年ばかりとつてゆくのがかなしくてなりません。友達はもう女學校を卒へるのだとよろこんでゐられます。私は胸がかきむしりたいほどかなしくなります。それに女は何か一つ身についた仕事がございませんと、いざといふとき困るだらふと思ひます。私はいろいろ考へてみました。けれど私にはよい智恵が出ません。女學校は學資がいりますからもうあきらめましたが他によい方法はございませんでせうか。

看護婦になるか産婆の試驗を受けるかして見たいと思ひます。産婆はむづかしいそうでございますから看護婦になつた方がよろしうムいませうか。それとも立派な家庭に家事を手傳はせていたゞきながら何か修學させて貰ふことは出來ますまいか。その他學資なしで苦學の方法がござ

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

いましたらどうぞお敎へ下さいませ。私は割合苦勞にはなれてゐると思ひますから、たいていの事は忍ぶつもりで厶います。もう十一時になりました。今宵はこれて失禮いたします。ランプの火も細くなりました。一入寒さが身に泌みます。

光子さんへ

あなたのお手紙を繰り返して拜見いたしました。永い間の御辛棒草葉の陰でお母さんはどんなにか喜んでおいでゝせう。學校がお好きとか、女學校を卒業されたお友達の身の上を羨ましがられるのは、無理はありません。けれど光子さん、私はあなたはそれ以上の學問をされたと思ひます。袴を穿いて學校へ行つて、本を讀むばかりが勉强ではありませんあなたは小さい主婦となつて、弟さんの世話から炊事、洗濯、すべてを掌つて一家の急をお救ひになりました。若しあなたがゐらつしやらなかつたら、弟さん達は他人の手におかゝりになつたに違ひない學校の試驗には落第しても、こんな場合に及第出來る人が本當に立派な人と思ひます「小さい母としての仕事」それが尊いのです。あなたの勉强なさりたいお心は充分お察しいたしますが勉强といふことの意味をよく考へて見なければなりません。お父樣さん弟さんはおいくつ？あなたが今家を出られたらどんなにお困りになりませう。あなたに代る人があつてお父さんも御承知、弟さんもお困りでないとしたならば、何等かその道を開いて差上げたいと思ひます。決して上京をとめません。看護婦も女の仕事としては惡いことゝ思ひます。尙進んで產婆の試驗をお受けになる、それもわるいとは思ひません。けれど、光子さん、こういふ職業はよほど尊い犠牲の心がなければ勤まるものではありません、時には傳染病患者の世話もせねばなりません。產婆となれば一人ならず二人の生命を預つてゐる樣なもの。今一度考へてごらんなさい。只今の御境遇も辛いでせうが仕事に骨は折れても優しいお父さん、たのもしい弟さんもおいでゝず。人の幸福は親子睦み合ひつゝ、健康で働けることです。いかに遊んでゐられても心に苦勞が絕えれば、經濟は助かりませうけれども家に居る時の樣に氣安くは暮せません。先頃一人の田舍からの娘さんが上京し、新聞の廣告を見て、或る中學校の先生の家へ雇はれ、夜學に通はせて貰つた上に小使を戴くといふので喜んで勤めてゐましたが、一ヶ月も立たぬ內に出てゆくといはれるのです。なぜかきいて見ますと

「私も決心して一度國を出たからにはたいていのことは辛棒しましたけれども今のお宅にはとても我慢か出來ません。御子樣のあることも仕事の忙がしいことも、夜學へ出して貰つてゐるのだと思へば決して不滿は申しません。けれども酒好きな旦那樣にいつもくよくよとおふさぎがちな奧樣に仕へるのはどんなに苦しいか分りません」との事でした。これは一例ですがその他にも女中同志のいきさつで下男と同一扱ひにされるかなしみ、家風や思想の相違などでつとめきれなかつた人は（私どものは御世話した人の中にも）たくさんあります。會社員や商店の事務員となり、月給十八圓や二十圓貰へても食費丈けもありません。都へ憧れて來た娘さん達は、單純な考へですがしばらくすると、あゝいやだといふ氣になるといつて結局故里の土に歸つてゆくのであります。そして自分の平安の住家は我家であつた。自分の慰安本分は人の下に使はれるより、自然の神樣に仕へて、郊外に働くことであつたと、悟られることゝ思ひます。みつ子さんあなたには祖先傳來のお家がありませう。それ丈けでも田舍の生活はありがたいと思ひます。都が見たければ汽車があります。本が讀みたければハガキ一枚で送つてきます。女學校の講義錄があります。女學校の卒業證書がなくたつて、實力がつけば人は棄ておきません。今の世の中はだんだん實力實用の人を用ひる樣に傾いて來ました。光子さん今一度お考へ下さい それからまた相談に預りませう。（濟子）

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

めりんすの一生

松崎ひろの

私は廿三年間、さま〴〵に形を變へて、忠義一途に働いて來ためりんすであります。長い自分の生涯を思ふ時、よくもこんなに働かれたものとしみ〴〵思ひます。

最初私は九州の片田舎の小さい呉服店に飾られて居ました。それは丁度今から廿三年前で私はぱつと目のさめるやうなその頃流行つた、牡丹色地に、大きな竹の模樣で艶々とした友禪でありました。

今三十三にならるゝ私の最初の主人は其時九ツで、丸々と肥つた、可愛らしい振分髪の娘さんでしたが、博多に行くために、私を新調されて、家中の人に「きれいだ〳〵」と賞められ乍ら私は四ツ身の單衣に仕立てられました。それからといふものは大切に扱はれて、旅行にも盆祭りにも必らず私が引出されて、重寶がれました。

御主人がだん〳〵と成長くならるゝにつけて私は身巾がせまくなり、はでになつて來ました。七年目に私はちり〳〵に解き離されて、十六になつた娘さんの帯に仕立てられましたが、まだ色艶の美しかつた私は十六になつた娘さんに、初々しいお太鼓に結ばれて、村の娘たちに綺麗な帯だと羨やましがられましたものです。帯になつても六年、當世風のめりんすのやうに地質の弱い事もなく、染料もよく、着實な私は、立派に帯としての勤めを果す事が出來ました。

けれどもいくら丈夫な私でも、平常の帯として朝から晩までしめらるゝやうになつてから兩端がだん〳〵と弱つて來て破けるやうになりました。これはと驚いた御主人は、早速私を解いて兩端の痛んだ所だけを切り取つて、小さい妹さんの鯨帯の眞中に入れて、再び私が帯として役目を果すやうにして下さいました。私の表にされたのはやはりめりんすで赤い地色に同じ笹の葉の模樣のついた當世風の柄でした。

小さい妹さんは時代後れの私も嫌ひもせずに可愛かつて毎日結んで下さいましたが、一昨年の暮新らしい紡績の羽織を兄樣に買つてもらつて、

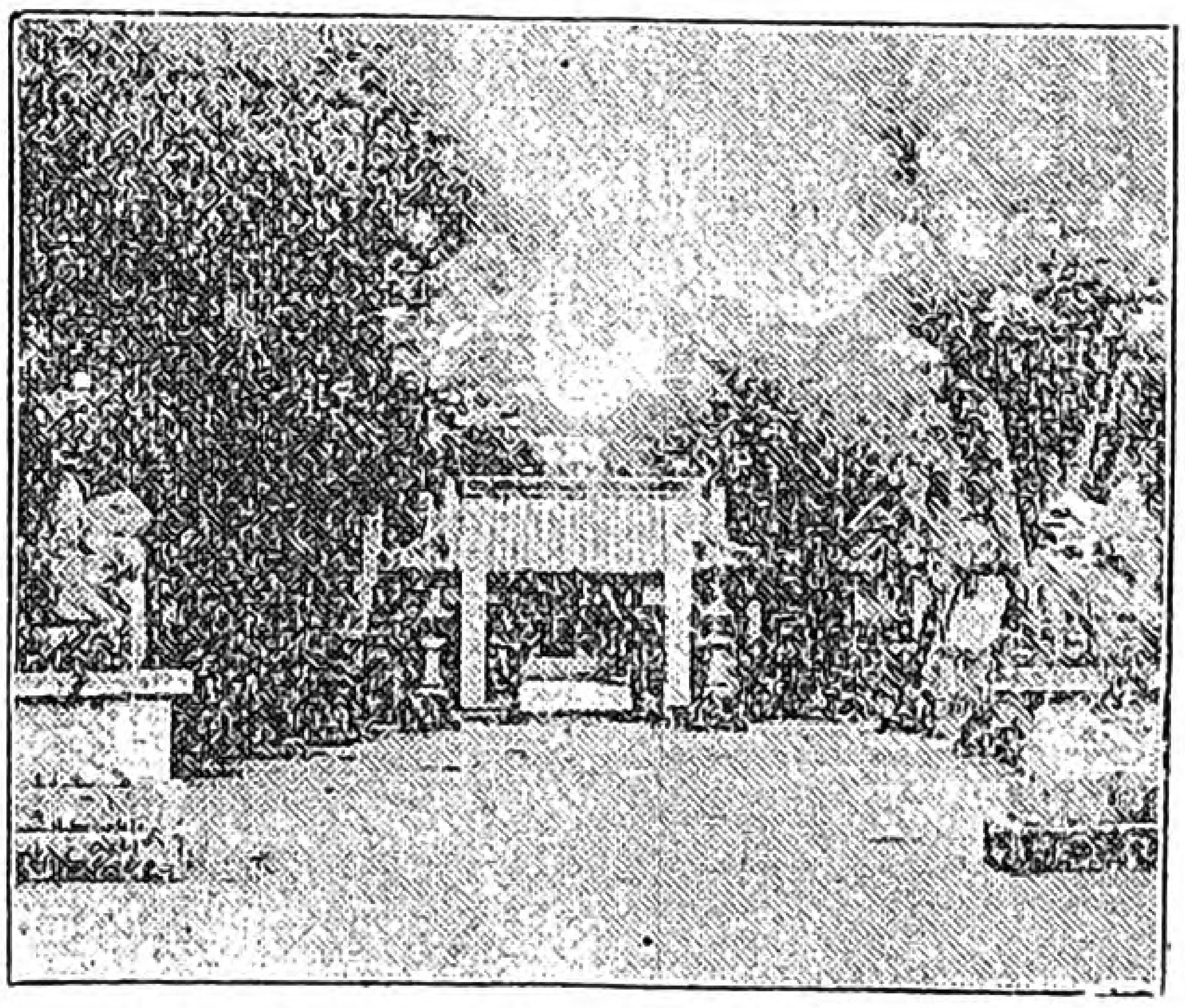
「折角表が出來ても裏がなくて困るわ」と思案に思案を重ねたあげく、帯ですでに廢物になりさうな私が引張り出されました。私共はたちま

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

ちの間に解かれて裏も表も洗濯されました。
どうなる事かと心配してゐましたら、乾いた私達は處々を縫ひ縮められて、竹の皮でつゝまれました。それからぐら〳〵と煮立つた釜の中に入れられましたので、暑い暑いと七轉八倒の苦しみに、私は生きた心地もなく、釜の中で煮えくりかへりました。

二時間以上も經て後の事です。ふと氣がついて見ると、私はお倉の前の竿に下げられてひらり〳〵と風にひらめいて居ます。よく〳〵見るとどうでせう、今までの竹の模様は跡形もなく、牡丹色も失せてしまつて廿年間少しも變らなかつた私の姿はまるでなくなつてしまつて居ます。あたりを見ると私の側には私と長く連れ添つて來た表のめりんすまでが赤い地色も、竹の模様も見えず、私と同じやうに焦茶地に、雲のやうな赤だの、白だの、牡丹色だのが見えて、當世風の絞り染の模様になつてひら〳〵と日蔭の風に乾いてゐました。

それから私共は張板でのばされて表地は胴裏に私は繼ぎ合せられて、袖裏にされて、立派な紡績の羽織となりました。



（垂水神社　岩井つや子寄）

それから娘さんはこの羽織が大變氣に入つて、外出の外は朝から晩まで私を着て

「一寸ごらんなさいよ、いゝ羽織でせう」

と自慢しては家中の人に笑はれました。

そしてお定りのやうに

「まあこの頃の布地の弱い事驚きますねえ、私は廿三年前に姉が買つためりんすをいまだに羽織の裏にして居ますよ」

と當世風の弱い布地を攻撃して居られます。

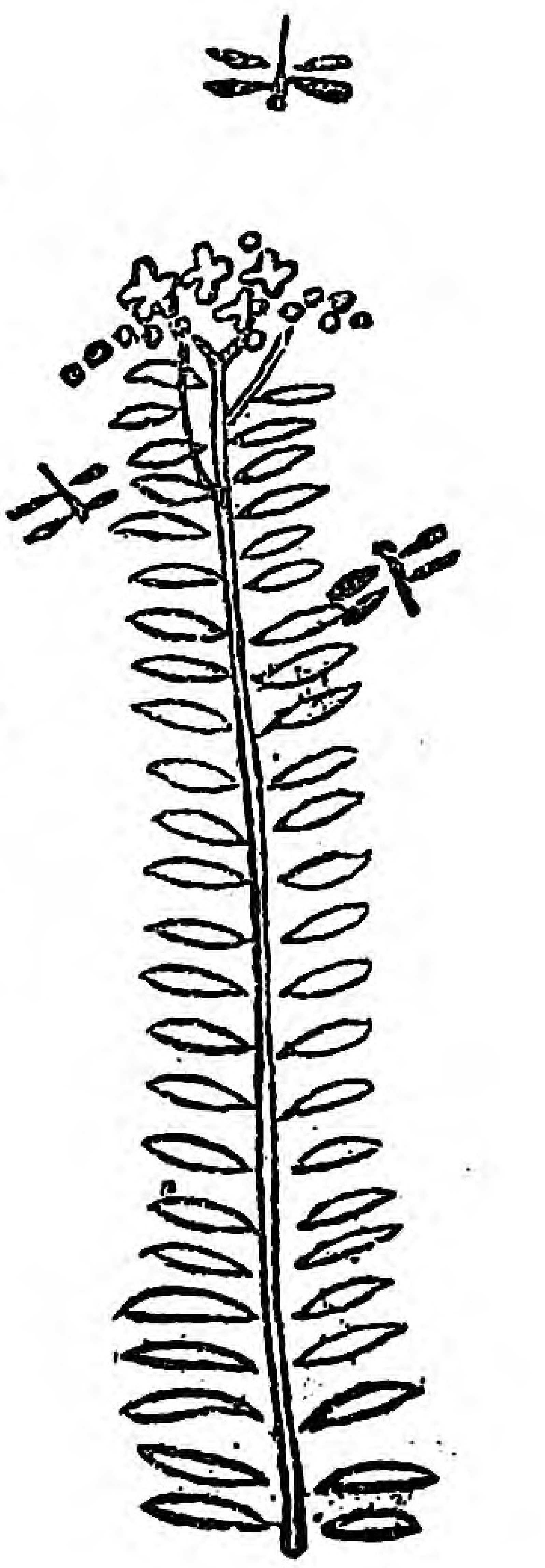
埼玉縣入間郡小手指村處女會員百二十名は去る三月十五日明治神宮を參拜しました。次號に詳しく御紹介します。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

小説

友情（完結）

深綠



△

「まあお高さん………」

二人が驚きの聲を發する突端に、高子は其場に居堪まらなくなつて、走り去らうとしました。

二人は追ひすがるやうにして高子を抱き止め

「お高さんまつて下さい」

「まあお高さんあなたは………」

兩方から引き止められて、高子は面目なげにうつむいたまゝ、涙ぐんで

「わたし……あゝわたしは」

といつたなりに、後の言葉もつゞかず、ハラ／＼とこぼるゝ涙は、止め

臺所から

四月の食品

魚類＝さより、櫻鯛、白魚、あなご、あわび、比耳目

野菜類＝筍、新牛蒡、木の芽山椒、嫁菜、蕨、蕗、田芹、うど

蕨のあく抜き

蕨はアクの强いものでありますから、生蕨を調理するには、先づ其のアクを拔いてから、用ひなければなりません、其方法は根元が硬くなつて居りますのは、硬い所を捨てゝ、よく水で洗ひ、其のまゝ暫く置きます。而して鍋に湯を煮立てゝ、其中に取つて、三十分間茹でます。そして取り出したものを、たくさんの水に少し灰汁を入れたものゝ中に浸し、半日程目笊にあげて、水で充分洗つて用ひます。

筍のゆで方

筍はどうしてもゆでゝ、頂きませんとえご味が强くて美味しくありません。

其のゆで方は、先づ根の硬い所を庖丁で削つて、鍋に丁度浸る位のぬるま湯をこしらへ、其中に筍を入れて、同時に米の糠を少し入れます。そして、暫く煮立てゝゆで終りましたなら、鍋

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

度なく青ざめた頬をつたはるのでした。
「ほんとにまあしばらくでしたねえ」
「私たちは、どんなにあなたに會ひたかつたでせう」
心の底からなつかしげに言ふ、二人の優しい言葉を聞いて、高子はもう胸が充滿になつて、凝と二人の顔を見つめては、はふり落つる涙を袂でぬぐひゝ
「繁野さん、靖代さん、私は恥づかしい、こんな汚い風をして、わたしほんとに恥づかしくつて」
二年前の傲慢な高子の面影は更になく、唯日陰の草のやうに、なよ〳〵と打ち沈んだ其樣子の哀れさに、二人は言ひ合したやうに同情の涙に瞳を濕ませました。
「まあとんでもないお高さん、何で恥づかしい事がありませう。あなたはほんとに美しい衣服のかはりに美しい心を持つて村に歸つて居らつしたのよ」
「えゝほんとにさうよ、美しい心――ほんとにあなたは何よりのお土産をもつて歸つて居らつしたわねえ」
二人は交る交る慰めるやら劬はるやらして、双方から優しい言葉をかけました。
「そしてあなたのお母樣は?」

を火から下して、湯が冷めるまで其まゝにして置き、それからとり出して水につけ、暫く置いて料理をします。糠を入れる代りにお米のとぎ汁でもよろしうございます。

よくおこる炭のつぎ方

物が燃えるには、空氣と溫度が原因でありまして、消つぼに炭を入れて消すのも、薪の燃え殘りに水をかけるのも、この二つの原因の反對の方法をとるといふ理屈であります。それで炭をよく起すには、空氣の流通をよくし、溫度を高めるやうに工夫する事が第一であります。炭と炭との間の空氣が常に暖つて居るやうに、積み重ねるのも其の一つであります。又灰をよく篩ふのも、其一つであります。灰を篩いますと灰と灰との間に隙が出來て、空氣の流通がよく、外から來る冷い空氣を溫め、內から發する溫かい空氣を保ちます。無暗に團扇であふぎ冷い空氣を送るは本當の火のおこし方ではありません

鼠の出入を防ぐ法

鼠のはびこる事は、衛生上極く惡い事です。殊に食器棚に出入するのは、非常に危險です。其時は孔を檢べ其の孔へ布の切り屑を水に浸し其上へ粉番椒をつけたもので塞げば暫く防くことが出來ます。

筍、海苔卷、三杯酢

筍はゆでたものを一寸長さの細い纖に切りま

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

母思ひの靖代は我事のやうに、先づ第一に高子の母の安否を尋ねました

「その母がねえ」

といつて二人に取られた手を離して、一しきり烈しく歔欷いた後

「この村を離れてから、私は泣いてばかり暮しました」

と亂るゝ聲の中に母子二人の今までの身上を、殘らず話しました。

話す人も涙、聞く人も涙――暫く語りつゞけた高子の話によれば、母子の者が伯父の家に引とられてから、始めの中は伯父伯母も優しくしてゐましたが、もと〳〵河村家の財産を目的に引とつた事とて、その財産を殘らず自分のものにして終つた後は、母子二人を厄介者にして、朝となく夕となく、口汚い伯父と伯母とのすげない取扱ひの中に、母子は頼り少い日を送りました。終には下女同然に使はれて、高子の母は今まで慣れる炊事や洗濯に激しい働きをさせられ、その疲れがもとでこの春床に就いてからは充分に療養も出來ずに伯父伯母の殘酷な待遇に堪えかねて、病の床に腦み苦しんで居るのを見かねて、高子がかくれての優しい看護に、やう〳〵露の命をつないで居るといふ事です。

今日は父の命日ゆゑどうかして父の墓に參り度いと、無理に伯父の家をぬけ出て來たが、母の事が心にかゝつて一時も早く歸り度いと、二人に名殘り惜しい別れを告げて急ぎ足に坂を下りて行きました。

す、鍋に味淋を少し沸立て、筍を入れ、水を四勺位、砂糖大匙一杯、鹽小匙三分の一をまぜて汁のなくなるまで、から〳〵に煮て、後酢を少し入れてかきまぜ鍋を下ろし皿にとつて冷まします。

別に玉子五個を割り込み、砂糖小匙一杯、鹽小匙半分を加へて、よくかきまぜ、玉子燒鍋で一分位の薄燒きに致します。

海苔巻すだれの上に玉子燒を置き、其上に、淺草海苔のよくあぶつたものをのせ、繊筍を入れて、卷鮨のやうに固くまき、すだれの上から糸で固く括り、固くなつたらば、すだれを取つて小口から五分位に切り三四個位づゝ三杯酢をかけて出します。

筍の田樂

筍のゆでたものをよく洗つて、一寸幅、一寸五分長さ位の大きさに切り、鰹節煮出汁、砂糖、醬油等で、うつすりと下煮をして、目笊のやうなものにあげて、煮汁をさり、金串にさして、兩面に木の芽味噌を塗りつけ、火にかざし、味噌に焦げ目のつくまで燒き、串を抜き皿に盛つて出します。

木の芽味噌の作り方

普通の赤味噌を茶碗に一杯程、擂鉢に入れ、よく擂つて、それから木の芽を入れてまた擂りつぶし、砂糖小匙三杯を入れて、裏漉にかけて、鍋に入れ、鰹節煮出汁、八勺を加へ、とろ火にか

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

確と手を握り合せたまゝ、繁野も靖代も
「まあ變つた事ねえ」
と云つたまゝ高子の哀れな姿を見送りました。

△

十月八日

文雄は遂に歸つて來ました。

僅かの旅費を懷にして、家を離れ頼る人もない母と妹を置き去りにしてほの暗い曉方、鎭守の森に我身の前途、母と妹の行末の幸をいのる、心からの禮拜を終へて、鳥の聲より外に見送る人もなく別れを惜しんでくれる人もなく、すご〳〵と村を去つた十六の少年は、今や巨萬の富を持つて、華々しく故郷に錦を飾りました。

靖代母子の喜びはもとよりの事、杉本一家を始め村中の誰も彼も集まつて賑やかな歡迎會を開きました。

喜びの色は靖代の一家に漲り、さゞめきの聲は村中に響き渡つて、「高野家萬歳」「文雄さん萬歳」と聲々に囃し立てゝ通る人で、常になく靜かな村が色めきました。

文雄が持つて歸つた巨萬の富……

それは十年間文雄が全身の血と肉をしぼつて千辛萬汗と脂の結晶であります。それ程苦心して貯へた財産ですから、文雄は、この富を以て何かしなければならぬと決心し、繁野の父に相談して、立派な事業の計畫を立てました。

けて煉ります。

蕨の貯へ方

鹽に灰を混ぜ、其中に蕨を幾重にも重ねて、桶につけ、壓石をかけて置いて、用ふる四五日前にとり出し、水に漬けて置き、にえ湯をかけて、灰を洗ひ落します。又鹽ばかりで、鹽からくして漬け込めば、二三年位經つても味が惡くなる心配がありません。

蕗の辛子和へ

蕗を皮のまゝ沸立つた湯の中に入れ、軟かに茹で、引上げ皮を剝ぎ、さつと水洗ひをして、水氣を切つて鍋に入れ、鰹節煮出汁をひたる位に入れ、砂糖を加へて少時煮てから、醬油をさし薄味に煮つけて下ろし、汁を切り一寸位の長さに切ります。それから辛子を少しの水で練つて、茶碗の內側に一面に塗りつけ、紙をかぶせて、沸立つた湯を八分目程注ぎ入れ、能く起つた炭火を五六個入れて、ぢう〳〵させて、湯炭をあけて伏せたまゝ暫く置いてから紙をはがし、別の器にとつて、醬油でどろ〳〵にゆるめ其の中に蕗を入れて和へます。

櫻の花漬

材料〔櫻花五升
食鹽三升〕

美しくて、大變上品なもので、お茶の代りに茶呑茶碗に二三輪入れて、湯をさして頂きます

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

文雄の決心は村中によろこばれ村の發展、村の榮えのためにとて、文雄と杉本醫師を信頼する村の誰彼が、僅かなりとも援助をしたいと、寄附金を申し込んで來る者も多うございました。

忽ちに集つた多額の金で、杉本醫師と文雄は何を計畫したでありませうか？

十年前に人手に渡つた高野家の地所に多勢の人夫が働いて半年の後に廣い大きな家が建てられました。二階造りの西洋風の窓で正面の石門には「△△村婦人倶樂部」の看板をかけ、周圍は生垣で圍まれ兩側の木立の間を飛び石づたひに行く玄關には、卓を置いて十七八の可憐な乙女が、或時は筆を走らせ或る時は讀書に耽つて居ます。

この乙女はあの氣の毒な高子でありまして、苦心して看護して居た母にも逝かれ、伯父と伯母との憎しみに堪えかねて居たのを、文雄が救つて、我家の人としたのであります。

文雄が計畫した婦人倶樂部もいよ／＼實行されて、裁縫の先生や手藝の先生がこの小さな村に迎へられ、續いて、織物の先生まで迎へられて、村中の娘たちがこの倶樂部に毎日集る事になりました。そして織物や裁縫や種々の手藝を稽古して、手藝品や織物は段々と他村に賣り出し、忙がしい家の縫物をして、その賃金は皆娘たちの收入の中に入れ、村全體の娘たちが働き乍ら樣々の技藝を學び得る設備を整へました。繁野も靖代も氣の毒な高子も共々に働いて、文雄の計畫によつて、いよ／＼村の富、村の榮えの幾久しかれと祈つて居ます。（をはり）

又饅頭の飾りなどにしても面白く、今頃漬け込んで貯へて置きますと、時ならぬ、珍らしい香の好い櫻花を頂く事が出來ます。これに用ひます櫻花は、色の佳い八重櫻で開きすぎぬものがよろしうございます。五升の櫻花を水にてざつと洗ひ、水氣をきつて置きます。別に鍋の中に三升の鹽と三升の水とを入れて火にかけ、飯杓子でかき廻し、五六回程、にえ立つた時に鍋を下して冷します、そして、漬桶の中に櫻を入れその上からさめた鹽水をかけてよくまぜ合せて壓蓋をして輕い壓石をのせて、ぎつしりと堅く蓋をして、日光の當らぬところに置いて貯へます。

伊勢路より

留岡幸助

（前略）龜山附近に近くにつれ春げしきすてがたく

足はこぶ毎にふくろゝ柳かな
來てみれは伊勢路は春のなかばなり
見ろ梅は同じ梅でも伊勢の梅

大廟を拜しては

神詣うで心すが／＼身はかろし
何んとなうたふとかりけろ千代の杉

松阪町に本居翁の鈴の屋を訪れて

鈴のやは墓に入りても音高し

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

地方通信

婦人夜學の誇り

處女會長　望月昌六

山梨縣南巨摩郡大鹽處女會は、郡下で尤も早く設けられ、會員は百三十名有りまして、本會の特長としては、補習教育で、毎年十二月一日より翌年二月末日まで、夜學會を設け、會員は毎夜二時乃至、三時間の修養を致します。夜學の學科としては、修身、國語、算術、家事、裁縫農業、漢文、唱歌等を修め、出席歩合は九五人以上でなか〳〵良い成績です。

又本會は毎年裁縫、作法等の講習會を開き、禮法、技藝を修め、大正九年度の講習生は六十七名、本年一ケ月間に四十名甚だ好成績で郡長より證書を會長より精勤賞を與へられ一月廿三日に無事に修了しました。（口繪にある寫眞を御覽下さい）其他本會員は勤勞を貴び、共同作業に從事し、其收益は基金に入れ、目下百五十圓の蓄へを有します〳〵發展して居ます。村の有志も同情厚く、副會長佐野よしゑ孃も熱心に働かれ、將來非常に有望と信じます。

巡回修養日

岡山縣苫田郡阿波　山本彦四郎

私どもの處女會では、昨年の三月から、巡回修養日を設けました。此れは巡回修養日日誌を設け、會員の家を次から次へと巡回しますので、會員は受け取つた其翌日を修養日と致します。何日自分に巡つて來るか知れません。其知れない所にほんたうの修養が出來ます。そして受け取つた翌日は殊に修養に心掛けます。其實行した事起床就寢昨今行つてゐる修養法、健康法や讀んでゐる書物を書くことになつてゐます。此れを思ひつきましたのは、私どもの村は純粹の農家ばかりで働く時間が一定致してゐませんから毎日日誌をかく事が困難であるのと、今一つは巡回でありますから、お友達の修養して居られる事も、會員全部に知れますからと思ひまして、實行してゐるのであります。會員六十名程の内一部分を書いて見ませう。一が日誌二が修養三が健康法四が讀んでゐる書物として置きます　尙ほ日誌は極簡單に致して置きます。

三月十九日　西矢定惠

一、今日は樂しい父兄會の練習、私は一日中眞面目で働きました。二、早起勵行と毎朝神佛禮拜　三、齒の淸潔　四、新編裁縫教科書

四月八日　藤本友代

一、今日は修養日、氏神參拜をして一日愉快に勞働しました。二、神社

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

佛閣の前を通る時は必ず禮拜すること三、深呼吸を毎朝行ふ四、女子補習用文

四月十一日　石田岩子

一、今日は日曜日一心に裁縫しましたので、夕方には着物が出來上りまして嬉しうございました。二、早起勵行三、食物に注意すること四、新編裁縫教科書

未だこの外修養法として、一日一善をすること、時間勵行をなすこと、儉約をすること、どんな事があつても親に不平を言はぬ事などありました。

小笠郡處女大會

靜岡縣下各郡に率先して組織された小笠郡の聯合處女大會は、二月十三日午前十時半から、掛川町公會堂に於て開かれました。當日は郡内の處女が千二百名も階上階下に寄せかけて、非常に盛會でありました。

開會の辭　中村郡視學

君が代の奏樂

戊申詔書捧讀　藤澤郡長

嚴肅なる會の進行に續いて、中村郡視學は立つて今度の處女會を郡下聯合にて組織した目的と、其經驗とを報告して、種々の規則を定め實行決議として「常に質素を旨とする事」を滿場一致で決しました。

十一時から講演會に移り縣立高等女學校長島田民治氏は「國運の發展と處女」といふ題で一同に感動を與へられました。又午後一時より處女會中央部理事女子醫學專門學校長吉岡彌生女史は遙々と東京より出張されて、破るゝばかりの喝采に迎へられて「處女の心得」といふ題で二時間ばかり講演されて、千餘の處女に限りなき敎訓と敬慕の會をあたへて、涙に胸を踊らす處女に送られて壇を下りられ午後三時閉會いたしました。(SK生報)

栃木縣處女會規約

第一節　目的

本會は當該市町村在住の處女相互の親睦を厚うし實際生活に必要にして國家の進運を扶持するに足る智德體力を自修的に涵養增進し良妻賢母たるの素養を得るを以て目的とす

第二節　綱領

本會の目的を達する爲め綱領を定むること左の如し

一、忠孝の本義を體し愛國の精神を發揚すること
二、公共訓練に努め犧牲的精神を涵養すること
三、品性の向上を圖り温良貞淑の德を養成すること
四、家事に精勵し勤儉の風を作興すること
六、攝生運動を重んじ身體の健全を圖ること
六、實際生活に鑑み家庭に必要なる知能を啓發すること

第三節　事業

本會の綱領に從ひ實行すべき主なる事項左の如し

一、補習學校の就學出席の勵行
二、講習會講話會研究會等の開催
三、圖書閲覽所巡回文庫等の設置
四、風俗習慣の改善勵行
五、運動遊戯(以下略)

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

六、軍事の後援老幼保護其の他公益事業
七、慈善事業
八、副業の研究及實行
九、工藝品の品評會及展覽會の開催

第四節　區　域

本會は當該市町村を區域として之れを組織す但し土地の狀況に依り部落若くは小學校通學區域等を區域として組織し又は支部を置く事を得

第五節　組　織

第一　會員

當該市町村內に居住し義務敎育を了へ又は學齡を超えたる處女は總て之れを正會員とす但し補習學校以外の學校に學籍を有するものは此の限りにあらず、當該市町村內の市町村長小學校長並に愛國婦人會及篤志看護婦會の役員は之れを賛助員とす、當該市町村在住の學識名望ある者及本會に對し功勞ある者は役員會の決議に依り賛助員に之れを推薦する事を得

第二　役員の職務

會長は會務を總理し會を代表し會議の議長となる
副會長は會長を補佐し會長事故あるとき又は缺員のときは其の職務を代理す顧問は重要なる會務に與り會議に列し本會補導の任に當る
支部長は會長の指揮を受け支部の事務を掌理す
幹事は會務の指揮を受け會務を處理す

第三　役員の選任

會長は總會に於て正會員及賛助員中より之れを選擧す
副會長及幹事は總會に於て正會員中より之れを選擧す但し副會長は特別の事情ある時は賛助員中より之れを選擧することを得
顧問は役員會の決議を以て賛助員中より之れを選擧す
支部長は支部會に於て支部會員中より之れを選擧す

第四　役員の任期

會長副會長顧問及支部長の任期は二ヶ年とす但再選を妨げず役員任期中と雖も會員たる資格を失ふに至りたるときは當然其の職を失ふ、賛助員にして其の資格を失ふに至りたるとき亦同じ補欠員の任期は前任者の殘任期間とす

第五　會議

會議は總會役員會及支部會の三種とす
總會は正會員及賛助員を以て之れを組織す
役員會は役員を以て之れを組織す
支部會は支部の正會員及賛助員を以て之れを組織す

中山道瀬戸の渡（岐阜縣）

濁川村講話會

新潟縣北蒲原濁川村敎育會にては去る二十日午前十時より村婦人會と合同し、同村小學校に於て婦人講話會を開催したるが、開會以前より呼物たりし、婦女會幹部二十名が農村に適する如き考案と技藝を凝らして製作したる廢物利用品展覽會は非常なる歡迎を受け瞬時の內に買約濟となれるの盛況を呈したり集れる婦女子實に六百餘名を算し村の重立者議員、敎育會員、各團體長の參列あり、先づ敎育會長眞島桂次郎氏開會辭並に發會の趣意を述ぶ

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

る處あり、次に學校長の勅語捧讀事故不參なりし婦女會長近藤々ル子代理として村長近藤耕太郎氏の挨拶と廢物利用に關し、婦人の自覺を說き、休憩の間餘興蓄音機あり次で敎育會長の紹介の下に講師法學士富岡敎雲師の有益なる精神法話あり、二時間終つて國上村より來れる森井一行の餘興娛手踊等に一同歡を盡して散會したるは午後五時なりき。(みどり生)

活動寫眞宣傳

三重縣にて　細川風谷

中央部理事諸賢、靜岡縣下の巡廻を了し、三重縣を宣傳中に御座候。岸本內務部長非常に同情を表せられ、種々便宜を與へられ候へば、感謝の至りに不堪候。到る處處女會勃興の機運動き既設團體は着々として活動の緒に就き、青年團との連絡亦頗る順調に行はれ居り候。「都に憧れて」は到る處好評にて、田園處女のみならず、父兄亦異口同音に推讃致され、各方面より後援を與へられ候段御同慶の至りに不堪候。

青年と合同の講習

福島縣沼隈郡　S　U　生

當地處女會は青年會と合同して幹部講習又は一夜講習を開催致し居候。青年處女共に精神修養の講習を聽き、各自實驗談を交換する外處女の手料理にて青年と試食會を催すなど、始めての試みに候へども興味頗る津々たるもの有之、一同眞面目に最後まで精進致し居り候。一般に本郡處女會覺醒し來り、この勢を何て進まば、地方改造の將來極めて洋々たるものあるを感じ申候。

募集のかず〳〵

○地方處女會の通信、特殊の規約
○孝子、節婦、優良會員の事蹟
○處女會の寫眞、誌友の寫眞、名勝の名はがき寫眞

回中央部より

◎中央部が三歲となつた

中央部は四月十三で滿三つになりました。上野の櫻がまつさかりのころ精養軒で開いた發會式には、山脇、吉岡、嘉悅女史など數十名參列せられ內務文部兩大臣の祝辭もありました。爾來滿三ヶ年、中央部は心に思ふことのみ多く、一向十分の活動も出來ませんでしたが然し全國一般に處女會の普及を促進したことは、動かすべからざる事實であります。當時は、處女會の名稱すらをかしいといつて笑つた人さへあつた位でした。其が今では、內務文部兩省をはじめ、敎育家や政治家まで頻りに奬勵を加へるやうになりました。本年は是非とも中央部で講習會を開きたく計畫中であります。

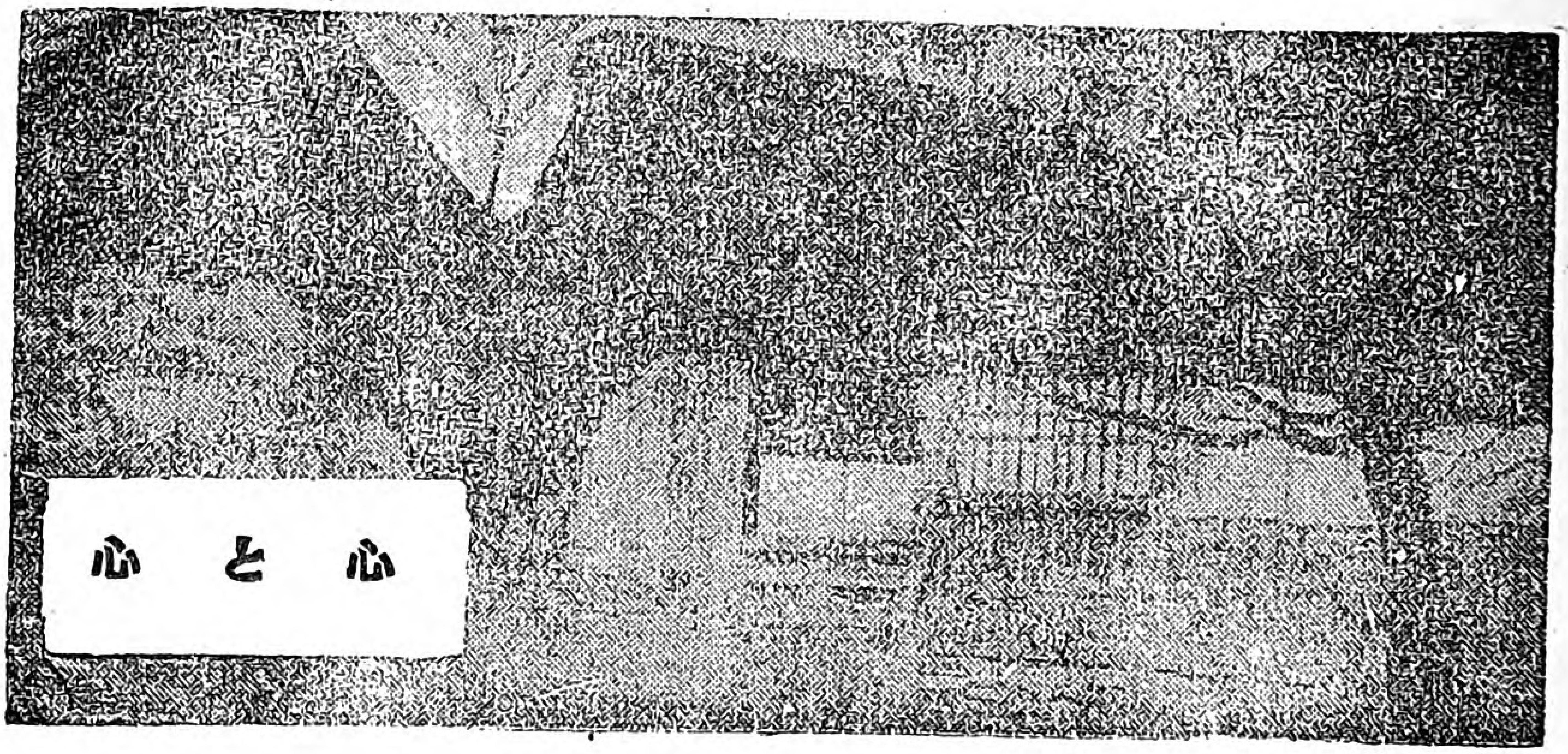
◎評議員三角錫子女史の去逝

本會評議員三角錫子先生は風邪の爲め去る三月十五日お亡くなりになりました。先生は女學校を經營せられる外、新聞雜誌に婦人問題を執筆せられ、殊に青年處女の交際の改良について非常に御熱心でしたが、五十歲のお働き盛りに、逝去されましたことは、日本婦人界の一大不幸であります。

◎處女讀本發行

天野理事は今回大正新讀本を發行されました。是は全國女子補習學校や處女會の讀本として作られたもので、上下二册、內容は趣味と敎訓とに充たされ一度手に取ると離すことが出來ない位のよい本です、東京日本橋の大倉書店で發賣してゐますから御希望の方は照會しなさい。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN



皆さんからのおたより

悲しい妹の死

靜岡縣田中村　石上まき子

記者樣私は昨年妹を失ひました、ほんとうに思ひ出しても情いな昨年の九月卅日、思ひがけない大暴風雨のため、見る見る押し寄せた大洪水は私の最愛の妹を奪つて行きました。嘆き悲しむ私共を殘して、歸らぬ人となつた妹はつい二日前の廿八日迄は元氣よく新會員として、處女會に出席し、東京からお出下さいました天野先生の有益なお話を聞き私共と共々に滿足して居ましたのに、僅か二日後の卅日の夜は見るも悲しき姿で死體となつて上りました。私と只二人の姉妹の中で妹に逝かれ私はもう悲しくて淋しくて、つまらない日を送つてゐます、今は唯處女の友を妹と思ひ毎月樂しみに待つてゐます。

僅か三十分や一時間の間に十四を一期として永久に歸らぬ人となつた妹の事を思ふと、あの國勢調査の晩の悲しさが今もひし〳〵と胸に迫つて參ります。

私は尋常卒業したばかりで、何も出來ませんが、今から一生懸命に勉强

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

をして、妹と二人分に農業を精出さうと思ひます、そして強く優しく眞面目に働らけといふ、先生のお敎へをよく頭に入れて兩親に妹と二人分の孝行をしやうと思ひす。

記者より

まあ何といふお氣の毒な事で御座いませう、たつたお一人のお妹さんあなたにとつてはかけがへのない妹さんをむざ〳〵と一夜の間に奪つて行つた、運命の神が恨めしくて記者も共々に泣きました。

雨にも風にもあてじと愛の懐に抱きしめて、お育てなさいました御兩親樣のお力落しはどんなで御座いませう。「思ふ事今はなき哉撫子の花さくばかりなりぬと思へば」出來るだけ美しく咲け、そうして美しい實を結べとあらゆる方面の心づかひも水の泡、可愛い撫子の花咲く事もなくて、夢の如くに奪ひ去られたお心の中はお察し申し上ぐるだけでも涙でございます。愛ひと嘆きに沈まれた御兩親にとつては何よりも貴女がお力で御座いませう、どうぞ亡き御妹さんと二人分の孝行をして、御兩親樣の御心を慰めて下さい。

處女會の記

埼玉縣古谷町　柴崎いく子

一月二日私の村でも處女會が開かれました、會員以外の人も集まる事になつて居ましたので、會員は早朝から學校につめかけて、種々準備をいたしました。縣立熊谷高等女學校長高柳悅三郎先生の「やくにたつ女」と題した話が四時間にわたつてありました。農村の女子に相應した話でした。會場は二階の二つの敎室のしきりを取り去つた程の大きさでしたが、それでも入れ切れない程盛會でした。其の中には老年のお婆さんも七八人混つて、小さな赤兒に乳首をふくませて居る若いお母さんも見えました。けれども多くは處女の方々だけに何となく場内は若々しい聲が聞えて居ました。

高柳先生は處女といはれる人は、いづれも心も身體も共に清淨潔白でなければならぬと話され次の五ケ條をあげて有益な講話をなさいました。

一、丈夫な身體を持つて居て忠實に働く人である事

一、質素儉約を旨とする女でなければならぬ事

一、女らしくする人である事。

一、清潔にして物事を整頓する人である事。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

一、愛嬌を持つて居る人でありたい事。

其他簡易生活の事について、又品行の事について其他家庭内の細々した事まで、誰にも解るやうに話して下さいました。其間人の話聲も聞えず赤子も泣かず、ほんとに氣持よいものでした。お婆さん達も非常に感心して聞いてゐました。

終に我が古谷八景の歌をお知らせ致しませう。近江の琵琶の八景にかた取つたのです。

◎

一、古谷の里はよい處、　お米も繭も上作で、
悦ぶ村人四千餘、　こゝにすぐれし八ッ景。
二、おぼろに霞む春の日に、　堤外匂ふからしなと、
かや野を飾る櫻草、　いづれもあかぬ望なり。
三、水もゆたかに植えつきし、　早苗の景は前耕地。
五月の闇ににぎおほは、　彌太郎橋の螢狩、
四、夕風涼し荒川の、　上郷橋の夏の月、
盆のまつりも近づけば、　伊佐沼うすむ蓮の花。
五、八幡様の秋の月、　雲なさまりてかけ消し、
古谷神社に詣でては、　輝く入日美しや。

すつかり學校の生徒になつた氣で

愛媛縣河邊村　梶谷あやの

私共處女會では一月中に十日間第八回裁縫講習會が開かれました。丁度舊曆節季て、大變忙がしい時でしたが、勝手に缺席する者など一人もなく、殆ど全部の會員が毎日朝早くからつめかけて、一分時を惜んで一生懸命に縫ひました。規定は一部生が子供羽織、本裁羽織、エプロンで二部生が本裁袷せの復習、本裁被布、シャツ、ヅボン等でありましたが、中には單衣羽織を縫つた人もありました。何しろ十日間もあるのですから、すつかり學校の生徒になつた氣で、毎日お辨當を持つて通ふのが、嬉しくてなりませんでした。

それに午後三時から五時まで矢張會長東久子先生から音樂を敎へて頂きました。廿六日の最終日には裁縫の仕上品の品評會で、會長様初め諸先生のお諭しを頂き、それから證明書や賞狀、賞品の授與があり副會長や幹事長の選をいたし、茶話會を開き五時すぎまで樂しく過して別れました。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

六つの處女會へ（心覺の手帳より）

天野生

（一）埼玉縣飯能町處女會

二月二十七日、午前十時池袋停車場から乘車一天限なく晴れ渡つて、武藏野の原には、麥が青々ともえ、霞の中で雲雀が頻りに啼く。處女會見學の目的で同行した妻清子曰く『神田の眞中から來ますと別天地ネ、郊外へ引つ越しませうよ』

十二時飯能驛下車。處女會場たる小學校へ向ふ。村松郡長、平野視學特に參列。晝食后吉田校長、双木町長、融訓導などゝ懇談。二時講話を始む。例に依つて「強く優しくまじめに働け」會員四百余名、會場立錐の餘地なし、此處は機業地にして工女も多く、將來有望の土地である。町長は自治制制定の時より勤續し、名譽なる藍綬褒章を下賜せられた方である。處女會に對し非常の同情を寄せられ、大正十年度は、二百圓の補助を下附せられたといふ。附近に『天覽山』といふ名勝があるが、時間がなかつたので杖をひかなかつた。

（二）埼玉縣小手指村處女會

三月四日、雛のまつりの翌くる日である。埼玉縣入間郡の小手指村處女會を訪問した。矢張い〻日和でよい保養をした。西所澤の停車場へ下りると、會員が迎ひに來てくれたのは嬉しかつた。おひるの御馳走になつてすぐおはなし。三百人の會員がよく聞いてくれた。此村の處女會は成績がよくて、父兄も喜んでゐるといふ。豐田校長も非常に熱心で、よく青年處女の味方をして下さるとか、處女の樣子がいかにも優しくしとやかで、處女會訓の『強く優しくまじめに働く』娘そのま〻のような氣がした。然し少し急いだので、話しが十分出來なかつたのは、ほんとうに殘念だつた。近く明治神宮の參拜を兼ねて上京するのでまた會はれるのがうれしい。

（三）同縣加治村處女會

其からすぐ停車場へ驅けつけて同じく入間郡の加治村處女會へ向つた。飯能町から一里ばかり、學校へゆくともう大勢來てゐた。會員の集りの早いのは、會のよい證據です。少し風が吹いて寒くなつたが、會員は

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

ソンナことに頓着ない。二時から一時間半ばかり、感心した娘のお話をする。いゝ娘さんたちだ。質朴だ。聞けば昨年此村の處女會は手藝品展覽會を開いて七十餘圓の純益を得、其を基本財產にしたといふ。まことによいことである。村でも補助金を出してゐるといふ女教員が何彼となくお世話して居られた。

(四) 愛知縣早蕨會

西に東へ處女會の訪問に目も廻りさう。東京驛を三月五日の夜行十一時に乘つて豐橋へついたのが、翌くる日の朝、女教員の仲原さんがお迎ひに來て下さつた車に乘つて目的地渥美郡高師村處女會早蕨會の發會式へ赴く。代議士の吉原佑太郎氏の令孃が主もに働かれてこの會も出來たやうである。令孃は名をはつ子といひ、年は二十七歲。お嫁にゆかれたが、病氣の爲に別れて、生涯獨身と決心され、社會の爲に働いて居られるのである。不治の病をもつてゐながら人の爲に働くといふことはたふといことである。校長の宅でごはんをいたゞく。見晴らしのよいお家である。夜七時の汽車で出發。

(五) 神奈川縣大澤處女會

七時の夜汽車で神奈川縣高座郡大澤村處女會の總會へゆこうとしたが、この汽車は沼津までしかいかないので、致し方なく靜岡の義妹の宅へ一泊。十二時に寢てウト／＼してゐると車が迎ひに來た。朝の四時〇九分といふ汽車に乘る。横濱で八王子ゆきに乘り換へ、橋本驛で下車。すぐ學校へゆく此處の處女會は縣下でも名高い、校長も村長も非常に熱心で處女會員三百人が靜かに二時間の話を開いてくれたのはうれしい。青年會との連絡も理想的て、いゝお話しもきいたが、是はいづれ改めて御紹介する。夕方歸つて留守中の用件を處理する。

(六) わらび町處女會

その翌くる日の八日には、埼玉縣わらび町外七ケ村の聯合處女會がわらび町で開かれるといふのでお正午頃の汽車でゆく。六百人ほどの會員がもう揃つてゐたには驚いた。佐久間郡視學も列席せられた。一體に埼玉縣は處女會の發達が著しく、縣でも非常に奬勵をしてゐる。工女も大分澤山見えたので、『工女は即ち孝女なり』のお話をも加へた。夕方汽車の窓から、會員が風に吹かれて家路につくのを見ると、お氣の毒の感じがした。あゝ『自分の話がいくらか爲になればよいが』

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

處女文壇

（賞）田舍の乙女

福島縣　齋藤優子

美しい絹の晴着は持ちませんけれども强いて求めは致しませぬ。母上の筬の音輕く織られた木綿には、厚い情がこもつてゐますもの、美しい花の髮飾は持ちません、けれども望みは致しませぬ、神より給はりし四季折々の花はゆかしい香と美しい色を見せてくれますもの、琴や三味線は習ひません、けれども辛いとも思ひませぬ、松風の微妙な調べ、可愛い鳥の聲、やさしい虫の音等私共の耳を喜ばせてくれますもの、海老茶袴に靴音輕く通ふ女學校もなければ、通ふ事も出來ません、けれどもなげきは致しませぬ、村には處女會があり、農業の暇に母校に集り、一心に勉强して、修養につとめ「强くやさしく眞面目に働け」といふ會訓を座右の銘として働いて居ますもの、手織木綿に野の花、鳥の囀りに處女會、これに滿足する私共は幸福でございます。

評　あなたのやうな方が模範處女として村の富村の榮えにつくして下さいますでせう

（賞外）悲しき夜

宮城縣　川越きみ子

「お正月にはきつとよくなるわれ」こんな言葉が小さな口から洩れた頃、妹の病氣は餘程重態になつてゐました。三十九度を越ゆる熱の高さも、日に日に肉の落ちて行く頰のやつれも、哀れ幼い妹には、わからなかつたのでせう。唯お正月を樂しみに軟らかな布團の中に溫和しく横になつて、苦いお藥も默つて飮みました。「くるしい」との一言も言はぬ痛々しい其寢姿に母も私も幾度泣されましたやら。

臨終の夜、妹の枕邊はゴムマリ、羽子板等で美しく飾られました。嗚呼死ぬ間際まで正月を待つて逝つた妹は、來る年も來る年も冷い地下でどんな春を迎へる事でせう。

評　最後の一節に泣かされました。

思ひ出の母

長野縣　橋本喜惠子

暖な日少し、風もなかつたものですから、庭へ出で見ますと、小川の水が、チョロ〳〵と囁きます。ほとりにある乾いた石に腰を下して居りますと、私の三ツ四ツの頃の事が心に浮びました。そして何時考へ出しても暖い母の愛が思はれます。暮方になると屹度母は私を炬燵に寢かせて置いて、夕飯の仕度にかゝられました。

少し眠つたと思ふと、母はすぐ竈の方へ急いで行かれました。私はそれが寂しかつたのです其の時の寂しさは今でも忘れられません。その時は屹度私はしく〳〵咽び泣きました、母は急いで來て脊など叩いて、いつも膨くりした美しい乳房を含ませて呉れて靜かに抱きしめる樣にして、優しい愁しい歌を唄つて呉れました。

私は亦いつとなく恍とりとなつてその歌と一緒に遠い國へでも運ばれて行く樣な心持になつて其の儘寢いつてしまふのでありました。

「ゆりの花」

宮城蓼村

谷間に咲いた白百合の
みどりの中に住むなれど
色にそまらず只ひとり
いまもみさをを守るなる。

いろどり赤き里百合や
鉢に育てた花ゆりの
一言ごとに色そへて
みさをを捨てゝ美にそまる
うきし心の淺猿しや。

青き心はいざしらず
秋に實れる世の人は
赤きを捨てゝ白きをば
谷間のゆりと誇るなり

選外佳作

眠られぬ夜半（福島縣　富田まき子、）父を思ひて（香川縣田岡美津）猫の死（靜岡縣古川きくの）初春（福島縣小野しげよ）

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

處女歌壇

賞　天

亡き父を待つにあらねど白かべに寄りて眺めぬ沖の小船を

鳥取縣　築地あや子

評　父君は遠き波路を越ゆる時世のなき人となり給ひけむ

地

家々を歌ながし行く物乞の姉妹の笠にそゝぐ春雨

群馬縣　藤倉きん子

評　父母の惠も知らぬ姉妹旅より旅に流れゆくらむ

人

母の背にあやなく語る幼子に一ッ二ッとかず敎へつゝ

鳥取縣　角みち子

評　二ッ三ッと指を折りつゝもみぢ葉に似たる其手をさしのばすらむ

ほのかにも寢息のごとくかほりくる春の夕べの櫻草かな　神奈川縣　金子菊子

森影の小鳥の歌にさそはれて鍬の手輕く春の畑うつ　香川縣　石川もと子

家人は皆ひそやかに語るなり母の病に心痛めつ　福島縣　日下芙美子

今日もまた涙して見ぬあはれなる巡禮の子のにぶき足どり　福島縣　二瓶初子

色あせし母のうつしゑながめつゝ涙するなりのこされし子は　紀伊　青柳

ともすれば淋しうとざすとびらにも春の光は訪れにけり　宮城縣　白鳥

山なみは眞白けれどもさ庭べに梅の花咲くきさらぎの頃　神奈川縣　山口孝子

十八の君一人子の親となりて我を去り行く心さびしも　鳥取縣　松島美智子

母人の機織る御手をみつめつゝ我手をそつと顔にあて見る　靜岡縣　風岡富士子

母と子と別れ住む身は今日もまた月さす窓にもの思ひけり　長野縣　黄菊

美しき野面の朝の光かな今日も畑に出でんとする我　香川縣　田岡美津子

春の日はいと樂しかり老いませる母とつれだち蕗のとう摘む　千葉縣　越川てつ子

若草の芽萌やさしき春の野を心明ろく歩むよろこび　東京府　大久保國子

遠方の友やいかにと思ひつゝ仰ぐみ空に星のかゞやく　群馬縣　橋本登久子

山腹に草燒くけむりほの見えて暮れゆく野邊は靜なりけり　福島縣　兒島たみ子

愛らしき妹の寢顔ながめつゝ幸多かれと神にいのりぬ　埼玉縣　神田房子

時雨ふる山路をわけて薪とる賤が乙女の姿ゆかしも　神奈川縣　小菅・柳美

榛木(はんのき)の林の中の小さなる藁屋(わらや)に友をしのびつゝ泣く　岐阜縣　長尾さかゑ

妹と唯二人にて看護(みとり)つゝ母の病に涙流しぬ　鳥取縣　小原しげ子

妹の病める吾が家の棟の上烏鳴つゝ又とまりけり　埼玉縣　岡田かね子

北國の里に病みます友の上いとゞしのばる霜寒き朝　香川縣　高木比佐子

糸車ゆるく流れて山里にしのびやかにも春は來にけり　島根縣　山根ふさの

月の夜に櫻の一枝手折り來て友に送りぬ玉章の中　神奈川縣　山下惠美子

母と子の臼ひく宵の靜かにていつしか外は雪となりけり　香川縣　高木まつ江

雪積る冷き軒に雛鳥を胸に抱けるにはとりの親　群馬縣　柳岡いく子

君逝きて四とせの春はめぐり來ぬ吾が胸悲しさびしさのわく　福島縣　阿邊芳枝

我肩に鍬を支へて野の乙女白手拭の姿やさしも　埼玉縣　今泉あさ子

久しくも病む身淋しく丸窓に近寄り見れば春雨のふる　愛媛縣　水沼須磨子

雪どけのしづく音する草の家の軒端に匂ふ早咲の梅　鳥取縣　杉本輝子

まがきより梅が香にほふ山里の友のふりにし家のなつかし　東京府　田村合百子

凍りたる夕べの道を歩みゆく足駄あやうく辷らんとする　北海道　萩原千代子

小窓打つ吹雪の音もたえ〴〵に淋しくふくる北

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

國の夜　北海道　山本かめの

春の夜は靜かにふけて我かげの障子にうつる姿さびしき　鳥取縣　藤川千鳥子

水源のわさび青々もえ出づるうら暖き春日和かな　東京府　森川光子

やうやくに畑打ち終へて仰ぎ見る空に淋しき晝の月かな　滋賀縣　田原しづ子

己が身のいたつけるより悲しみて妹の病みとりつゝあり　鳥取縣　角　壽子

縫ひさしの着物押しやり幼子の寢顔いとしみ口づけをせり　靜岡縣　山口ふく子

よしあしと人の言葉に動きたる淺き心の恥づかしき哉　滋賀縣　中川とら子

うらゝかな春の光の明るさに似たりと思ふ母のみ心　宮崎縣　きみ子

針運ぶ吾がゑりもとをやはらかにそとなでつゝも春風のふく　愛媛縣　すみれ

父まさぬ君がやかたの雛まつり汀かげのいかに淋しかるらむ　富山縣　宇田燕子

夕されば麥田つゞきのその中に里の小道の白々と見ゆ　三重縣　高木繁子

亡き母のおくつきの邊も春くれば思ひませとやもゆる若草　福島縣　土屋しの子

野も山も雪はあとなく消え果てゝ日毎にもゆる春の若草　岐阜縣　安藤さくの

乙女てふ清き叫びを胸に置き春の光に針を運びぬ　福島縣　若子

廣き野の春の小草に休らひて小鳥の歌を聞くが樂しき　千葉縣　松本津計子

吹雪する中より包ふ梅の花をみなの道もかゝれとてこそ　岐阜縣　加納たじ子

沸鹽の遠き空より伯父上の軍のたよりめづらしく讀む　島根縣　土江富子

春の野に花つみ歸る少女子の袂も輕く風にゆらぎて　千葉縣　鵜澤えい子

春の日に川ばた行けば村の子の素足出しつ芹つむを見る　福島縣　六角久子

かりそめのいたつきなれど老いませる母の寢顔に心いためぬ　群馬縣　榮子

物言はで思ひに沈む我耳に湯の氣の音のしめやかにして　北海道　千葉宏子

この頃のさびしき心なぐさむる弟の手紙うれしかりけり　長野縣　瀧澤やよ子

すゝり泣く聲にまじりて母を呼ぶ幼子の聲悲し葬式　福島縣　二瓶きのい

縫ひ上げし心輕さに外に出てのどけき春の光あびけり　福島縣　兒島ゑい子

山あひの谷間に雪の殘れるをひとりのどけき鶯の聲　福島縣　土沼多眞世

ほの〴〵と明けゆく春の大空にかすかに殘る有明の月　神奈川縣　梅本ふゆ子

のどかなる春の光を背にうけて結べる髪の油光れり　鳥取縣　角　こう

しら〴〵と明けゆく春の曙を心靜かに眺め入るなり　長野縣　野菊女

梅匂ふ庭にきて鳴く鶯の聲に春くる事の知らるゝ　福島縣　西原たき子

朝晴れて黒き土よりふわ〳〵と白き湯氣立つ雪解けの畑　福島縣　横山節子

我母の逝きしこの頃悲しさの思ませとや春は來にけり　埼玉縣　今泉あさ子

うすぐらき机の上になつかしき姉の姿の影かすかにて　北海道　千代子

もろともに泣きて語りぬうき事の數多かりし昔がたりを　滋賀縣　河上かれ子

梅かほる窓に寄りそひ友人の初たより見る心うれしき　京都縣　谷岡節

銀の針の運びのわびしくも紅絹辿る雪のふる宵　岐阜縣　吉田千代子

マンドリン手にせしまゝに涙ぐむ兄の姿をしばし見つめぬ　岐阜縣　竹腰よさ枝

髪結ひて晴着姿の妹の笑顔愛らし雛の祭に　東京府　井上こう

自らも行きなやむなる泥濘を妹抱きて通る乙女子　山梨縣　井上益代

我庭に花咲く桃の一枝を折りて供へんひなの祭に　埼玉縣　小熊たみ子

のどかなる春の庭べの桃の花友に送らん雛まつる日に　香川縣　小竹芳江

嫂と心を合せ縞組し野良着の機に向ふうれしき　滋賀縣　河上かれ子

母のみとり

松崎ひろの

老いませる母のみとりに疲れ果てまどろむ夜の犬の遠吠

病みつかれ思ひつかれし我が母に涙見せじと顔をそむけぬ

もの言へば母の涙もさそふべしたゞに默してほゝ笑みて泣かむ

をみなわれ針もつ事は捨てざりき世のいとなみに明し暮せど

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

處女俳壇

（賞）

山里の春の一日をわらびがり
生れしは女なりけり雛祭り
岐阜縣　渡邊鈴江

紀伊　青柳

（住所姓名お知らせ下さい）

雨だれの一つ一つに春深し　島根　山根ふさの
蝕みし母のもありて雛祭り　千葉　鵜澤えい子
櫻咲く岡の小家の灯の光り　東京　大久保國子
夢に泣く聲にも似たる春の雨　宮城　白　鳥
花吹雪窓を開ければ本の上　福島　鈴木ひさゑ
孝行に袂ぬらすや墓詣で　岐阜　安藤さゝの
春日和小猫も共に晝寝かな　福島　土屋しの子
十八の我袖にほふ梅の花　鳥取　角　こう
留守の間に雛人形と遊ぶ猫　群馬　藤倉きん子
鶏の軒に寄り合ふ吹雪かな　鳥取　小原しげ子
寒月や路行く人の下駄の音　東京　森川光平
蝶のひげ輕く動きぬ春の風　千葉　越川てつ子
春霞みよもぎつみつゝわけて行く　靜岡　風岡富士子
花嫁の帶の赤さよ春の雪　埼玉　神田房子
墨すれば梅の花散る机かな　鳥取　杉本輝子

春歌ふひばりの聲や麥の上　滋賀　野　矢花
公園の梅があぶなしボールなげ　東京　田村百合子
若草や渡し場近き小屋の前　愛媛　水野須磨子
母のため小說を讀む夜寒哉　福島　長鄕すゞめ
乙女子の瞳に似たる春の星　福島　河邊芳野
丸髷や初めて歸る桃の村　神奈川　野　菊
土手一里人も通らぬ吹雪哉　三重　橋本繁子
すくすくと麥の穗波に鳥の聲　香川　野田加津枝
針運ぶ腕のだるさや春行く日　福島　日下芙美子
福壽草今朝また一輪咲にけり　福島　小柴房野
草もゆる野を走り來る子犬哉　滋賀　田原きと子
雪の朝軒に集るむら雀　福島　渡邊みどり
梅咲いて賤が庵の春うらゝ　神奈川　山口孝子
歸り路は雪になりけり歌留多會　福島　吉川貴美子
妹が雛の眞似する節句かな　神奈川　金子あい子
大伽藍影に一本梅の花　神奈川　小菅柳美
初幟の終へて嬉しきこの日哉　群馬　柳岡いく子
雨けぶる灯淡き春の朝　福島　紀　チエ子
時ならぬ花を咲せり雪の里　香川　大山須惠子
破れ窓吹雪に襟の寒さかな　福島　一　處女
梅の花殘して走る小犬かな　北海道　山本かめの
麥畑に腰のばし見るあげ雲雀　愛媛　すみれ
學友の手紙に泣けり病む妹　鳥取　角　壽子
絹足袋につま先冷ゆる寒さ哉　京都　谷岡節子
乙女子のコートに輕く春の雪　鳥取　角美千子
春風に花の散る野に舞ふ小蝶　香川　石川もと子
新年に初めて開く福壽草　愛媛　橋本澤代

表紙に對する私の感想

たくさんの投書が集りまして、どれもよく出來てゐました、其中で二ツだけ掲載して賞品をさし上げます。

一等賞

福島縣　渡邊とよ

處女の友が配達されて、先づ目に止つたのは雷きらめく空の雲行と風吹きすさび荒波高く打ちよするものすごき有樣であります。そして浪風烈しい中にあつて、靜かな田舍の平和さうな光景――酉年にちなんで鷄の豐かに餌を求めて居るあたり、たつぷりとした果物――皆田園の幸福が表はされて居ます。

二等賞

北海道　千草宏子

御誌の表紙は何といふ温味のあるものなのでせう、睦まじさうな數羽の鷄＝これには團結の心がございます。殊に今年は酉年で處女會の團結を示されて居ます。豐かに實つた蜜柑＝これは田舍の富、田舍の幸福が示されて居ます。
海と空＝この荒狂ふ有樣は文明の步みの表れで又都會の生活漲が示されて居ます。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

誌友くらぶ

はがきに限る一人一信のこと遲れた方は次の月

△花が咲く、鳥が鳴く、ぱつと明ろくなつた春景色と同じやうに誌友くらぶも賑やかになりました。一人でも多くの人と交りその長所を眞似ろやうに心掛くろのは新時代の婦人として、向上發展の近みちであります。(記者)

○記者樣皆々樣お變りはありませんか。私は本年二月號よりの愛讀者ですよろしく(福島縣南會津郡檜枝岐村星いわえ)

○私は北海道の片田舍に暮す乙女です。皆樣寒國の一少女をあはれと思し召しお交り下さい。北海道では雪が五尺もつもつて居ますの。(北海道雨龍　山本かめの)

○記者樣初め誌友の皆樣お變りもありませんか、どうぞよろしく、隅田の石井えい子樣大變お近くですのね(和歌山縣伊都郡九度山町　喜多富美子)

○私は本年一月號より處女の友愛讀者となりました、淸い誌上でお導き下さいませ。(長野縣諏訪郡金澤村中村文江)

○今度私共の處女會では數ある雜誌の中で御誌を選び、そして一同眞面目に御誌を愛讀して居ます。今後も私共の爲にますます御發展下さろことを祈つてゐます。(きさ子)

○私は大沼郡の端に住む一處女であります、昨年十一月から御誌の愛讀者となりました、全國の皆樣私もお仲間に入れて下さい。(福島縣大沼郡横田村　横田千枝子)

○私は名高い靈山の麓にすむ一處女で御座います、昨年の九月當地の校長先生のおすゝめで本誌の愛讀者となりました、有益なお話をお聞かせ下さいまして有がたう御座います(福島縣伊達郡靈山村中川齋藤優子)

○十八の樂しき春も過ぎ去りました、誌友の皆樣如何お過しですか、私は處女の友を明けくれ友として居ます。今年は機織りが忙がしくて、一寸の暇もなく、お裁縫や禮儀作法を思ふやうにならへなかつたのが殘念で御座います。(神奈川縣　山下恵美子)

○吹く風も暖くなつて、日あたりのよい所では、すみれやれんげ草が咲いて居ます、誌友の皆樣お變りありませんか、野の小鳥と共に青春の歌を歌ひませう、香川の石川玉枝樣福島の中島春美樣御便り待つて居ます、(愛媛縣伊豫郡下灘村　水沼壽磨子)

○剛志の橋本登久子樣、一月號におなつかしきお便り下され嬉しく拜見いたしました、深く御禮致します貴女の眞心こもれろ歌に俳句に毎月感心して拜見して居ます、永久にせひお交り下さい。(佐波郡采女百々照崎その子)

○私は田舍の處女ですが至つてお針が好きで毎日お針にいそしんで居ます、天野先生には遠方よりお出下さいまして、色々とお話有り難うございました厚く御禮申上げます。(岐阜縣武儀郡上麻生村　加藤ほかゑ)

○同縣の小原しげ子樣、いつもおなつかしきお便り有難う存じます、宮城のあい子樣、二階堂樣香川の大山靜江樣、山陰の空からお慕ひ申し居ます、どうぞお交り下さい(鳥取縣西伯郡渡村上大澤　築谷あや子)

○二月號の誌友くらぶにお出し下さいました笠原藤子樣お便り誠に有難う存じました、宮城のあい子樣、二階堂樣近縣でおなつかしう存じますおさしつかへなくば御住所をお知らせ下さいませ。誌上の皆樣どうぞお仲間入りさせて下さい。(福島縣相馬郡新地村　大堀美尾子)

○松崎先生お變りありませんか、同縣の築谷あや子樣門脇みつ子樣お投書遊ばせな、他縣の方々に負けないやうに、高木比佐子樣私よりお慕ひ申して居ましたのに貴女樣に先を越されましたどうぞよろしく(鳥取縣春日村　小原しげ子)

○記者先生お蔭樣で橋本樣と文通か出來まして、嬉しう御座います、高野山のふもとにて金剛寺内の一愛讀者樣お便り有り難う御座いました誌上にてお禮申し上げます、(群馬縣佐波郡　柳岡いく子)

○ますます御社の御盛大蔭ながらお喜び申します皆樣どうぞお交り下さい。(新潟縣長岡市　大矢つろ子)

○大野原の高木樣、石川もと子樣同郡でおなつかしう存じます、おさしつかへなくば不束者ですが御交際を願ひます。(香川縣三豐郡　田岡美津子)

○皆樣こんな田舍者ですがお導き下さいまし、處女文壇、歌壇、俳壇を盛んにしやうではありませんか、(福島縣三春町　佐々木二把子)

○皆樣なんて明ろい月でせうきれいな銀世界に包まれて居ろ世のすべてが淸く光ります。皆樣私達は今が最も華やかな時代です。この尊い若い時代を夢に暮さず有意義に過ごす樣に勉めやうではありませんか(福島縣大沼郡三谷村　河邊芳枝)

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

○私は毎日處女の友をくり返し亂れ心をいさゝか取なほし、處女會訓をよく守り野に山に樂しく、働いて居ます。記者樣御自愛の程いのります。(廣島縣　三本をかず)

○私は和歌、俳句の作り方を學び度いと思ひますが適當の本がありましたらお知らせ下さい（小田町の讀者）

△歌の本では東京市日本橋區本町三丁目博文館發行和歌入門（佐々木信綱著定價五十五錢）俳句の本は東京市南紺屋町十二實業の日本社發行俳句のつくりやう（高濱虛子著定價四十錢）が適當と存じます。(記者)

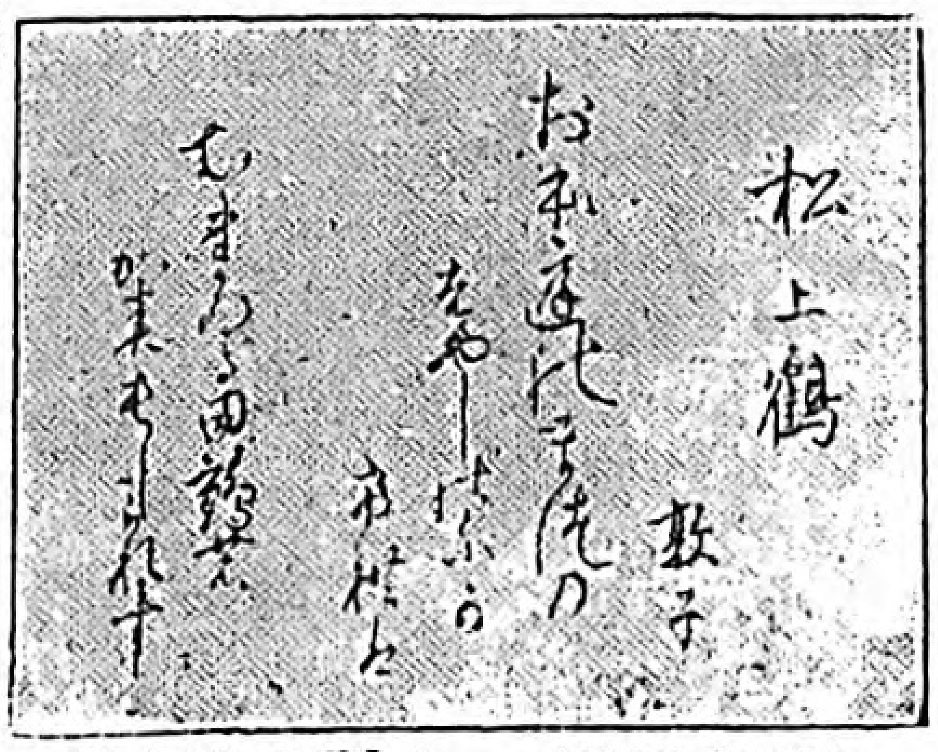
○記者先生お變りはありませんか私は四國の田舍乙女でございます。二月號の吹雪のわかれほんとうに中江先生の御母樣は私共の手本でございます。私も母も弟も吹雪の別れに泣されました誌友の皆樣よろしく（愛媛縣伊豫郡、南山崎村唐川字和川須磨子）

○信濃高原はまだ寒うございます誌友の皆樣萬物の安らかに眠る時野の處女は修養の道に進みませう、勉めませう(信濃　小春)

○記者樣、私は昨年の六月から御誌の熱心なる愛讀者でございます、尊い記事から教訓を得た事は幾何でございませう、お禮申上げやうと思ひながら拙い筆の跡に心おぢつゝ今まで失禮しました、私もこれから投書いたします、皆樣よろしく（宮城縣　きみ子）

○私は古里(栃木縣)遠くはなれて東京の某女學校に通學して居ます。九年四月からの愛讀者でございます皆樣末永くお交り下さい。(東京府下中野町二〇五〇鈴木方　柴田芙蓉子)

○誌友の諸姉樣、私の村には恥しい事ながらまだ處女會がありません諸姉樣參考のため諸姉樣の入つてゐらるゝ處女會の會則事業、社會奉仕の樣子お知らせ下さい、(神奈川縣高座郡大和村役場　小菅伊太郎)



（神奈川縣　小澤ひろ子）

○「强く優しく眞面目に働け」何といふ彈力ある底力ある會訓でしよう今や國家の前途は頗る多事多端なるの秋中央部諸先生の御健導と滿天下の處女諸姉の御修養と健康をいのります、(田島菩藏)

○先生誠に悲しい事にはまだ私の村では雜誌を見るのを生意氣だとか其上投書等……と人樣から聞される私は懸しうございます、けれども先生私はどこ迄も處女の友を愛讀していつまでも投書いたす考へですからお見捨なくお導き下さい（滋賀縣蒲生郡　中川とら子）

○私は淋しい山間に暮す處女でございます誌友の諸姉樣何卒よろしく(兵庫縣多紀郡大芋　深田ちよゑ)

○御慕はしう北海道の內海千代子樣私は友無き淋しい地に住む乙女であります、貴女は一昨年の婦人世界の六月號か七月號に「性の敎育を受けて」を御投書なされた方ではありませんか、間違つたら御許し下さい誌上で末永くお交りを（群馬縣勢多郡木瀨村　姬百合）

○みなさまのおやさしいみ言葉を愛子はどんなにうれしく有難く拜したことでせう、有難くお禮申上ます、先生時々文壇に題をお出しなさいましたらいかゞでせうほんの私一人の考へにすぎませんけど（愛讀十ヶ月白鳥）

△皆樣の思想の自由を重んじて題を出しませんでしたが追々工夫文として試みて見ませう(記者)

○樂しい春がタンポヽ、レンゲ、スミレ、櫻、蝶々などを引つれて暖いお國から訪れて參ります。私は靑年ですが處女の友を讀んで自分たちにも有益な本と思ひました、皆樣よろしく（岐阜縣　加藤喜一）

○皆樣の和歌を拜見する度に私の心はすが〳〵しくなりますおふろひ遊ばせ、本所の白木その子樣、御無沙汰しました、貴女も投書遊ばせな片時も忘れ得ぬ宮城の姉さま會ふ事が出來るかと思ふとうれしさに胸が一ぱい（北海道　千代子）

○處女の友……そうした名が私にはたまらなくなつかしい、梅が匂ひ、櫻が笑ひ若草萌ゆる間に腰を下して樂しく野の幸を歌ひ乍ら土に親しむ時……あゝ、野を守る乙女ならでは味ひ得られぬものでございますれ誌上の皆樣お互ひに自重して働きませうれ（福島縣大沼郡三谷村大谷　河邊芳野）

○雪にとざされた東北の田舍にも春は訪れて參りました、もうやがて梅の花も咲くことでせう、今泉あさ子樣私こそどうぞよろしく、岐阜の野田綾子樣如何なさいまして（宮城石越　二階堂たかを）

○先生には何のおさわりも御座いませんかお伺ひ申上げます、誌友くらぶに出して頂くのは誌友くらぶと書くのでせうかお敎へ下さい（香川縣三豐郡大野原　柴田たつ子）

△端書の初めに誌友くらぶと書いて下さい。(記者)

○春の氣が漂ふて來ました、記者樣お變り御座いませんか、此度はきれいな繪葉書お送り下さいまして有難う御座いました、愛知の今井しげ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

子さん、岩手の菊地繁子さん鳥取の小原しげ子さん同名でおなつかしう御座いますどうぞお交り下さい、(三重縣南牟婁郡神志山村　高本繁子)

〇私は昨年九月よりの愛讀者です皆様よろしくお願ひ致します。(山口縣大島郡　宮本よし)

〇花も漸く匂ひ初めました記者様はじめ誌友の皆様お變りはありませんか、今度は美しい繪葉書有難うございました(岐阜縣安八郡名森村安藤さゝの)

〇梅にうぐひすの一聲、山里の草木も芽ぐみて全く春の氣分になりました、橋本様、石原様、御やさしきお言葉有難うございます、永久にお見捨なくお交り下さいませ、(佐渡郡島郷村太田　柳岡いく子)

〇日に月に進歩して行く今日、學校を卒業してから、暗夜に入つた心地でしたが、私は一つの燈明を見つけました、それはこの有益な處女の友でした、私は本誌によつて、正しい道に進んで行き度いと思ひます、御先生どうぞお導き下さい、(鳥取縣西伯郡中濱村　角みち子)

〇庭の櫻もほころび吹く風も暖かになりました、私は、福島縣の田舎に住む一處女で御座います、我が村にては、年々處女會が盛んになり何よりうれしく思ひます、(福島縣大沼郡藤川村　尾崎きみ子)

〇私は昨年三月號よりの愛讀者であります、毎號有益な記事を拝見して限り知られない喜びを味つてゐます記者様どうぞ、よろしく、皆様お仲間入りさして下さい(福島縣大沼郡藤川村　横山節子)

〇記者様初め誌友の皆様お變りありませんか私は會津の片田舎に住む一處女です記者様及び誌友の皆様よろしくお導き下さい(福島縣大沼郡藤川村　横山くて)

〇田園の春景色は又格別であります、天野先生はじめ記者様お變りもなく何より喜んで居ます、當村の補習學校はずいぶん盛大でございますこれも天野先生の御盡力の賜と感謝いたします(靜岡縣田中村　山口艷子)

〇私は農事や養蠶の間には賃機織をいたして居ます、皆様どうぞお見捨なくお交り下さい(群馬縣佐波郡豐受村　藤倉きん子)

△ほんとうによく働く娘として貴女に感心しました(記者)

〇私の住む田舎にも春は音づれました、愛知の鈴木靜子様、お便り下さいれ生江哀涙子様同縣に住みながら御無音御免遊ばせれ(猪苗代　淺川みさ子)

〇九合村の對比地こう子様、親類でないことが知れてがつかりしました……貴女の境遇をうらやましく自分の身を悲しまずには居られません(群馬縣　榮子)

〇先生どうも有難うございました今月は廿五日に處女の友を受取りました、誠にうれしく存じます(かつ子)

〇愛讀者の皆様お變りありません、か、陽氣な春は音づれましたお健やかにおはげみ下さい、香川の月見草様山本みゆき様、大平みさを様、柴田たつ子様、石川もと子様お奮ひ遊ばせ、宮城の二階堂様卒岐様、鳥取の小原様、御健在をいのります、(香川　白蝶)

〇記者様何時も有益な記事有難う御座います、甚だ勝手がましい事ですが處女會歌をお致へ下さいませ(福島縣大沼郡藤川村　兒島ゑつ子)

△發行所から一部だけお送り致します。(記者)

〇記者様しばらく御無沙汰致しましたが皆様お變りございませんか、先生私の村にも此の度學校の先生や青年の方の御盡力で處女會が出來ました、(北海道　山本とくの)

〇諸先生様誌友の皆様櫻花咲く季節となりました、美しいお手紙お惠み下さい、(東京縣西多摩郡檜原村森川光平)

〇私はこんな片田舎に居るよりは東京府下の看護婦會に入り看護婦となり、世間の人を救ふ身にならうと思ひ父につれられて上京致さうと思つて居ます。誠心と勇氣さへあれば大丈夫と思ふのです、記者様私の望みはだめでせうか、それともよい道があるならお敎へ下さい。(福井縣大飯郡和田村　吹田釧子)

〇私は片田舎の處女でありますが昨年五月より處女の友拜讀以來氣付かなかつた自分の缺點他所の處女會の發展等一々知る様になりました、此上もなき良き讀物と次號を待つて居ます。(福島縣　須田歌子)

〇野の幸早速お送り下さいまして誠に有がたう御座います。地方開發の爲に努力致して中央部の事業の一端に報ひんと働いて居ます、理事様方何卒喜んで下さい、(福島縣大沼郡西川村、栗城松江)

〇「賤にほゝゑむ岡への櫻陽炎もえ立つ廣野の晝」こゝまで吟み乍ら一心に針を運んでゐましたらバサリとポストマンが喜びを投げ込んで行きました、まづ美しい表紙に見とれました、誌友の皆様ます〱お振ひのほどを(群馬縣剛志村　橋本登久子)

〇皆様お變りもございませんか、私も一月號より愛讀者となりましたどうぞお交り下さい(栃木縣那須郡佐久山町　柴田愛子)

〇記者様初め誌友の皆様お變りございませんか、私は香川の片田舎に住む一處女で、御誌を無二の友とし

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

てゐます、どうぞお交り下さい、（香川縣三豐郡五郷村　藤岡政枝）

○美しい春の色は開かれました、私の學校の可愛い一人の處女が處女の友本月號より取り度いと申しますが今其本の代價が知れませんので困つてゐます、何とぞお知らせ下さい（鳥取縣　入江ふゆ子）

△處女の友代金は一部十八錢、半年分一圓八錢一ヶ年分二圓、見本十九錢です、（記者）

○おなつかしい記者先生其後御すこやかに處女の友のためにお骨折の事と嬉しく存じます。（富山縣　宇田薫子）

○私は一月よりの讀者で御座います、ほんとに處女の友を讀むのが何より樂しみで毎夜處女の友に親しんでゐます。（靜岡縣庵原村庵原村　牧田秋子）

○鳥取縣の小原しげ子樣やさしいお言葉有がたうございます、不束者ですがどうかよろしくれ、宮城の二階堂樣香川の月見草樣御無沙汰致しました、おかはりありませんか、（記伊のえい子）

○樂しい春となりました、おなつかしき皆樣二度來らぬ青春の處女時代を愉快に働きませう、お便り下さいました森川樣其後は如何……（信濃高原　山田りく子）

○埼玉の今泉あさ樣三月號でみやさしいみ言葉有がたうございました私こそ末永くお導き下さいませ鈴木靜子樣……まあ貴女でしたの鈴蘭樣つて……私おやさしい名にチャームされてゐましたの、どうぞよろしく牟岐あい子樣、白鳥は可愛らしくつてよ（鳥取縣　胡蝶）

○記者樣先日はきれいな繪葉書有がたう存じます繪はがきの人に成る木、金の成る木の敎へ草何とよい敎訓でございませう、早速座右の銘といたしました、記者樣はじめ誌友の皆樣御身御大切に（福島　齋藤偃子）

○賞品として美しい繪葉書有がたうございましたとりあへず御禮申し上げます（愛媛縣　久保澄惠子）

○處女會員は皆強くやしく眞面目に働いて居ます、この三月に支部長も改選いたしまして私が當選致しました、どうぞ今後もよろしくお交り下さい（靜岡縣庵原村杉山　片平乙壽）

○記者樣二月二十五日に東京から櫻井先生といふ衣服の先生が見えまして、二時間程もお話をなさいました、大へん面白うございました、伊豫の橋本澤代樣御親切な御言葉誠に有りがたうございます、末永くお交り下さい、（名古屋市中區東檜町　田口若子）

○私は上州の一農村の處女會員です、昨年の五月より處女の友の愛讀者となりました、皆樣どうぞお導き下さいませ（群馬縣　新井若草）

○愛する處女の友の爲に一筆書かせて頂きます、私は御誌のある事すら知らなかつたのでした、二月號を初めて拜見しましてどんなに感謝した事でせう、天野先生よろしくお導き下さいませ（北海道黑松　菱花會一幹事）

○記者樣、私は信濃の山間に住む處女であります、おなつかしき百瀨かれ子樣より御話きゝ、愛讀者の一人となりました、皆樣よろしく（長野縣東筑摩郡五常村　望月ひさを）

○記者樣始め誌友の諸姉樣お變りありませんか、お伺ひ致します、天野先生此間は有難うございました、（埼玉縣　岡田保市）

○淋しい田舍にも春は音づれてきました、皆樣お變りありませんか、宮城の愛子樣御病氣いかゞですかお案じ申して居ます。宮城のたかを樣鳥取の小原しげ子樣御寫眞拜見して影ながらお慕ひ申して居ます、おさしつかへなくば御便り下さい（香川縣三豐郡　田岡美津子）

○私の村では一月十八日に集つて折紙の稽古を致しまして後茶話會で趣味深き福引あり、琵琶の彈奏があり賑やかでした。二月十九日には、びん細工を習ひました（滋賀縣神崎郡八幡村　淸水字多子）

よもやま

□いゝ時候になりましたれ。春、春！乙女の春は別していゝ。皆さん春を讃美して下さい。

□都の花は四月十日ごろでせう上野に、飛鳥山に隨分の賑はひですよけれど野の趣きは自然で又何んとも言へないですよ。あの麥の色、あの菜の盛り、其處へ雲雀がピッピッとなく、皆さん春風を吸ふて「野の幸」を歌つて下さい。

□私の好きて花は櫻よりも、桃、それからつゝじ、藤の花も大好き。それから山吹もすき。梨の花が月夜にほろ〳〵と散るところは尙すき皆さんの大きな花は何んで？

□來月には「一人は何んの爲に生れて來たか」が出ますよ、まじめに考へればならぬことです。さあ何んの爲でせう。働く爲か、遊ぶ爲か泣く爲か。さあ皆さん考へて下さい。

□明治神宮の參拜を兼れて東京見學なさる處女會に對しては、出來る丈け便宜を圖りませう。四月上旬には、群馬から參る害です。是からは、若い娘さんも少しは外に出るがいゝです。百聞は一見に如かず。都をみないから無闇に憧れるのです。

□皆さんの寫眞大歡迎です。然し無理に寫す必要はありません。記者のも出しますよ。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

○輯編だより

△皆様の御熱心で處女の友がます／＼發展して行くのが嬉しくてなりません。

△愛媛縣喜多郡河邊村坂本處女會は東會長の御働きでだん／＼盛んになり會報など模範的に出來て居ます。二月十日には大變趣味深き音樂會がありました。

△滋賀縣神崎郡長勝寺淸水氏、栃木縣上都賀郡山中淺一郎氏は毎度結構な資料を送つて下さいます。御熱心の程感謝いたします。

△處女會中央部では三月九日理事會を開きました、山脇、吉岡、跡見、三輪田、宮田、福島田所、天野諸理事が列席されて種々協議されました。

△懸賞工夫文は非常に多くの寄稿で皆よく出來て居ます。精細に選んで五月號に發表いたしませう。

△文藝欄の投書も月毎に盛んになつて、皆様の御熱心が嬉しくてなりません。けれども住所氏名の明らかでないのはほんとに困ります。紙上は匿名でも編輯部には、よくわかるやうに書いて下さい。賞品をお送りする事が出來ません

△誌友くらぶが賑やかになつて誠に結構ですが、なるべく簡單に書いて頂きたいと思ひます一人でも多くの方をお仲間にしたいといふ編輯部の希望ですから、字數を少くして多くの方のを載せるやうに皆さんが心がけて下さい。

三月號考へ物の答

三月號の答は

「輝ける二見ヶ浦の朝日かげ
天照る神の光り三重なり」といふのが正解であります。抽籤で左の方々に當りました。

三重縣一志郡藤田かず子、島根縣仁田郡松田キクエ、香川縣三豐郡秋山さと（村の名を知らせて下さい）大分縣西國東郡野上俊枝、山口縣吉敷郡渡邊かれ、福島縣双葉郡新川枝乃子、埼玉縣入間郡大館伊都子、神奈川縣津久井郡岸しめ子、京都府竹野郡給田はな子、東京市本所區木村サヨ子、福島縣大沼郡根本キヌイ、山梨縣南巨摩郡石坂なつ子、福島縣河沼郡仙波吉井、群馬縣新田郡木暮たか子、茨城縣新治郡岡崎ふく子、長野縣東筑摩郡藤松むま、東京府西多摩郡武藤マン、福島縣耶麻郡鈴木ひさゑ、神奈川縣橘樹郡柴田安子、

考へ物新題

新題　私は細長くつて全身が光つて居ます。一ツ目一本足の不具者でおまけに意地惡くチク／＼と刺しますが女の方には大變好かれて、女の方に非常な手助けをします。私の名を當てゝ下さい。

締切四月十日。本郷區元町二ノ六六處女の友發行所宛のこと、答はハガキに限る、其他の投稿も凡て發行所宛のこと。

毎月一回一日發行

定價表

冊數	定價	郵稅
一冊	拾八錢	五厘
六冊	壹圓八錢	不要
十二冊	貳圓	不要

註文規定

○註文はすべて前金のこと
○送金は振替が便利で安全ゆへなるべくこれによられたし
○郵券代用は必らず一割増のこと
○前金切の時は帶封に「前金切」と印しおくゆへ直に送金せられたし
○送金のときは第何月號より第何月號迄と明記せられたし

大正十年三月廿七日印刷
大正十年四月一日發行

東京市本郷區元町二ノ六六
發行人印刷人　田所楠猪
編輯人　天野藤男
東京市神田區小川町三十六
印刷所　成功社印刷所

東京市麴町區紀尾井町三番地
處女會中央部
發行所　東京市本郷區元町二ノ六六
處女の友發行所
振替東京六一九〇番
電話小石川四三八四番

大賣捌　東京堂、北隆館、至誠堂
其他

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

ホーカー液懸賞語呂合募集

懸賞語呂合課題

色白くなるホーカー液

右の語呂に合せた名文句を募集致します續々御投稿下さい

作例――題、ホーカー白粉白さが異ふ
答、櫻花は吉野路史の香が匂ふ

應募規定

□用紙……官製ハガキに限る
□締切……四月十五日限り
□宛名……堀越商店廣告部
□雜誌名……本廣告を見たる雜誌名を必らず記入すること

――發表は六月號の本紙上を以てす――
――特に御婦人方の御投稿を歡迎す――

―賞金―

一等 金拾圓（一名）
二等 金拾圓（五圓宛二名）
三等 金拾圓（二圓宛五名）
四等 化粧品詰合箱（一箱宛廿名）
五等 ホーカー液（一本宛卅名）

ホーカー液ホーカー白粉ホーカーオナーホーカー央斐液本舗
ホーカーパツトホーカークリム白粉ホーカーポーマド

東京神田和泉橋際 堀越嘉太郎商店
電話神田一四三、一四四、一四五
振替東京一五六

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

青年圖書

大久保四州著（第十四版）

青年訓話 軍神乃木

乃木將軍の感化の力の偉大なる事は本書が日に新に熱狂的大歡迎を受くるによりても知らる。

定價五拾錢＝送料四錢

月刊雜誌 帝國青年

青年の好伴侶▲指導者の研究舞臺▲修養研究向上娯樂▲青年團の連絡▲定價一部二十錢送料一錢▲半年分一圓廿錢▲一年分二圓三十錢稅共

青年團中央部編纂
第四回青年團講習會講習錄

新時代の青年團

新時代に處して青年團體を如何に指導すべきかの問題は二十有餘大家の權威ある講演に依り解決さる

定價一圓五十錢＝送料六錢

青年團員手牒

定價十二錢＝送料三部迄二錢

今や日本全國の青年團は益々結束を堅うして團員相互の連絡を圖り互ひに激勵修養する爲に團員各自に『青年團員手牒』を所持せしむ而して本手牒は當に天下を風靡しつゝあり。

帝國青年の歌

定價五錢＝送料九部迄二錢

緬羊の飼ひ方

定價六十五錢＝送料四錢

東京市赤坂區溜池町三十一　**帝國青年發行所**　振替口座東京二一六八番

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

創刊十六年地方振興民力涵養の機關

新民

全國町村長會通報機關!!

四月號　■　一部卅錢　一年三圓六十錢

- 地方制度改正の精神……塚本地方局長
- 地方財政の現況と其對策……田中廣太郎
- 教育と地方財政……小林丑三郎
- 列國に於ける勞働運動……河原田稼吉
- 英佛戰後の農政……堀田正恒
- 歐米南洋印度の大觀……末松偕一郎
- 土地政策に對する農民の自覺……村田宇一郎
- 地方統計改良私議……横山雅男
- 部落改善吉野村の三十年……北村電三郎

△北海道、東北(六縣)新潟、岐阜、山口各府縣の會員讀者諸君には特に地方版を配布す

山崎延吉先生著

增補八版

婦人の覺醒

附表　女房の善惡鏡

定價三十錢　送料二錢

内務書記官　田子一民先生著

米國に於けるアルコール戰

(再版)　定價金參拾錢　送料二錢

發行所　東京市赤坂區溜池町三十一　中央報德會　振替東京九七〇〇

○御註文の節は處女の友の廣告に據る旨御書添へを乞ふ○

親友

毎月一日發行・一部定價金拾五錢 送料五厘 一年壹圓七拾錢

主幹 內務省囑託 天野藤男

時勢の要求急なるにも拘らず其の實現の遲きを憂れ且は嘆ずる事熱烈なる覺醒しつゝある吾人青年等は從來相互ひに修養、向上、改善等を熱叫し合ひ各自の爲に資しつゝありし本誌をして茲に若き異性同士の精神的交友の無二の親友たるを本分とせしむ。來たれ！ 意氣に富む女性よ！ 處女と青年との提携の完成に資せ

【投稿に懸賞】見本請求五厘切手二十枚封入の事（其月號切の際は次號送る）

床次內務大臣題字 中橋文部大臣題字

田子內務書記官 乘杉文部事務官 序

天野藤男 同 清子 著

定價上製金參圓 並製金貳圓五十錢

忽再版

改造と向上 青年と處女の叫

傳襲に囚へられたるものは改造の空氣を吸ふ能はず向上の道を進み得ざるべし、本書は青年及處女の大膽なる赤裸々の告白を錄し、以て相互に傳襲を捨てしめ、青年と處女とに改造と向上とのヒントを與へんとしたるもの地方青年會並處女會の讀物として必要缺く可らざる好著であり、青年男女の修養書として推奬す。

近刊

都に憧れて

內務省囑託 處女會理事 天野藤男先生著

定價金壹圓送料共 寫眞數葉洋裝函入頗美本

花の帝都に憧憬れて住み馴れしふるさとをあとに向不見に家を飛出して上京せるお房お君の活ける事實を中心に天野先生が心血を注がれた小說で文部省の生活改善展覽會に是を活動寫眞にて發表し、又內務省に於ても推賞し全國到る處に宣傳しつゝあり青年處女の修養書として推奬する良書である。

發行所 振替東京二四一一四番 東京神田區美土代町三 親愛社

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

内容見本無代進呈

小野鵞堂習字雜誌

書道研究

文部大臣許可社團法人 斯華會 東京神田鍛冶町三

本月號出來

内務省囑託 天野藤男著

親愛なる農村青年へ

定價八十錢 送料六錢

好評嘖々既に十二版を重ぬ地方青年にとりては唯一の指針盤たり敢て之を奨む

東京市本郷元町 丙辰出版社 振替東京三三三〇〇番

賜天覧台覧

天野藤男著 内務文部兩大臣其他序

指導經營研究實績

青年團處女會

定價二圓五十錢 送料十二錢

◉好評六版◉

一著者が多年の苦心になれる著述にして青年會處女會の好參考書一

東京本郷元町二丁目 振替東京三三三〇〇番

丙辰出版社

○御註文の節は處女の友の廣告に據る旨御書添へを乞ふ○

何もかもが改造されて參りましたのに、御家庭用品の中でも大切な縫糸が、古い時代の姑息の品で、お間に合ふ筈はありません。皆様の御要求により十分研究を重れて、新しく提供された、殆ど理想に近い此のキリン縫糸をお試み下さい。東京女子高等師範學校、共立女子職業學校、戸板、渡邊、和洋各裁縫女學校、全國女子師範高等女學校、三越吳服店、白木屋吳服店を始め斯道の大家、實際家の御證明、御推賞を頂き多々御用命を承つて居りますのも此の

新しく出來たキリン縫糸

が、従來の糸に比して、非常に優れた點を持つて居るからです。上等の綿で紡いでありますから引が強く、瓦斯燒シルケット掛ですから縫ひすべりが非常によく、綺さも丁度使ひ加減で絹小町の代りにもなります。従つて同じ目方で従來の糸よりも、三割五分は長くなつてゐます。一方販賣にも多くの人手を用さず直接皆様にお願ひするのですから、旁々非常に割安になつて居ます。四時折々の御贈答品として品質の良い包裝の瀟洒なキリン縫糸をおすゝめ致します。

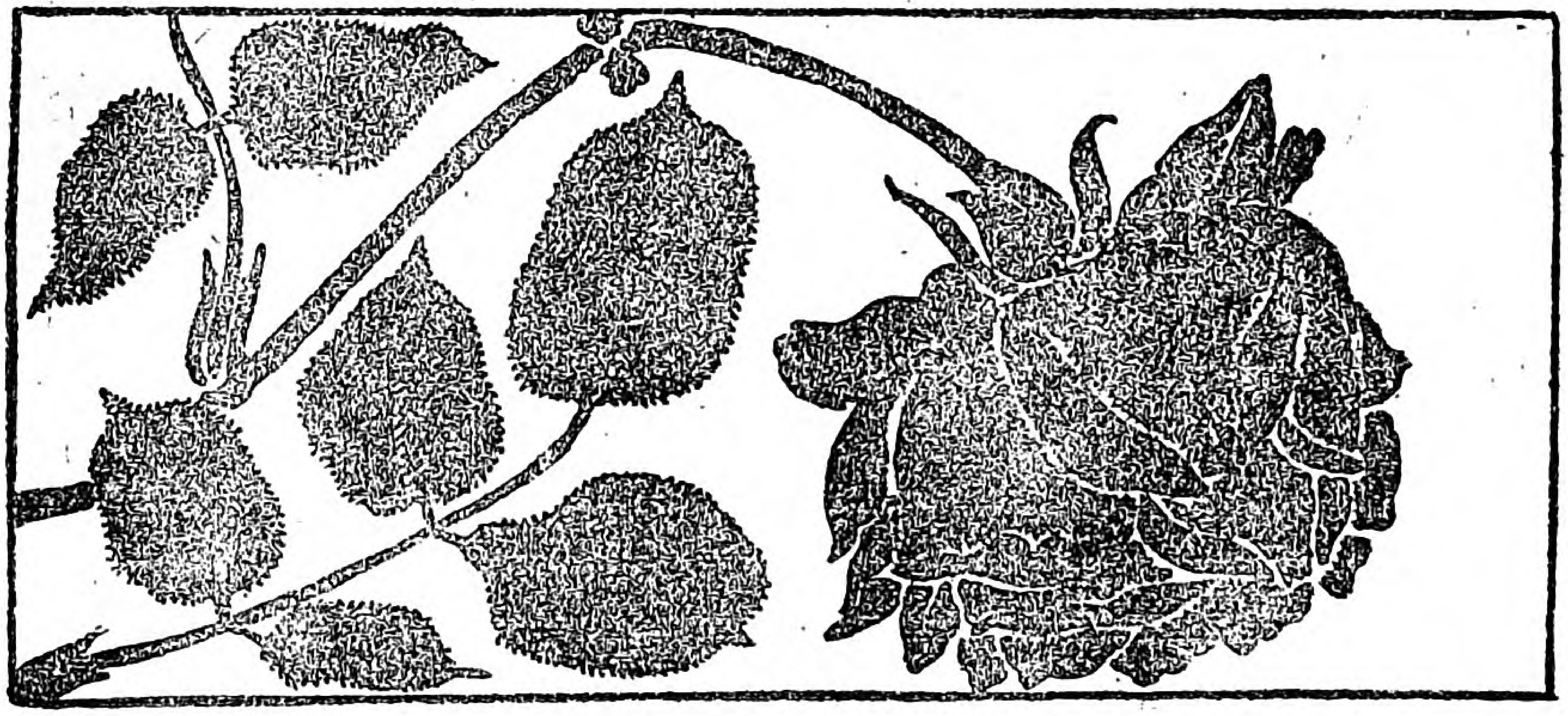
東亞綿絲工業株式會社

東京市日本橋區堀江町

一〔三越・白木・其他有名吳服店・雜貨店等にあり〕一

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

○御註文の節は處女の友の廣告に據る旨御書添へを乞ふ○



◆三越の四月◆

◆定休日◆十日……廿五日……

寄裂見切反物賣出し ◆四月一日より……

新製洋傘陳列 ◆四月一日より……

五月人形陳列會 ◆四月十一日より……

銘仙新柄陳列 ◆四月十五日より……

東京 三越呉服店

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

大正七年十二月二十五日第三種郵便物認可
大正十年三月二十七日印刷納本
大正十年四月一日發行（毎月一回一日發行）

一部定價　金十八錢

處女會中央部

東京市本郷區元町二ノ六六
處女之友發行所

復刻版 処女の友 全5巻＋別冊1

2014年11月1日発行

揃定価（本体90、000円＋税）

編集・発行者 細田哲史

発行所 不二出版

東京都文京区向丘1-2-12

☎03（3812）4433

印刷所 富士リプロ

製本所 青木製本

乱丁・落丁はお取り替えいたします。

第3巻 ISBN978-4-8350-7662-1

全6冊 分売不可 セットコードISBN978-4-8350-7659-1

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

UNIVERSITY OF
ILLINOIS LIBRARY
AT URBANA-CHAMPAIGN
BOOKSTACKS

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN